

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸  
2022 度 第 3 回 ひょうご産官学連携協議会総会 兼  
第 2 回 コンソーシアム担当者連絡会 次第

日 時：2023 年 3 月 22 日（水）10：00～11：00

場 所：オンライン会議（オンラインシステム Zoom を利用）

ミーティング ID：876 9371 1924 パスコード：879514

I. 審議事項

1. 2023 年度事業計画・予算（案）について

資料 1

II. 報告事項

1. 私立大学等改革総合支援事業（タイプ 3 プラットフォーム型）について

資料 2

2. 2022 年度活動報告について

資料 3

3. トルコ・シリア地震被害に対する義援金の受付について

資料 4

III. 懇談事項

1. コンソへの期待について

<資料一覧>

- 資料 1-1 : 2023 年度 事業委員会事業計画・予算（案）一覧  
資料 1-2 : 2023 年度 予算（案）  
資料 1-3 : 2023 年度 事業委員会事業計画及び予算（案）  
資料 2 : 令和 4 年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ 3 P F 型）選定結果  
資料 3 : 2022 年度 活動報告  
資料 4-1 : トルコ・シリア地震被害に対する義援金の受付について  
資料 4-2 : ひょうご神戸から繋ごう！「令和 5 年トルコ地震義援金」ポスター  
参考資料 : 2022 年度 各事業委員会活動の自己評価に対する改善提案

2023年度 事業計画・予算(案)一覧

(単位:千円)

委員会	委員長校	副委員長校	中長期計画Ⅱ期		実施プログラム	達成目標	コンソ予算	受託事業	委員会予算	合計			
			柱	課題									
国際交流	兵庫県立大学	神戸市外国語大学	柱2	“ひょうご神戸”の国際性を活かしたグローバル教育支援	⑤	外国人留学生と日本人学生等の交流促進	取組1	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の90%以上(期間中2回測定)	0	9,825	100	9,775
							取組2	加盟校の国際交流プロジェクトとの連携促進事業	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の90%以上(期間中2回測定)	50	0		
学生交流	神戸常盤大学	神戸学院大学	柱1	地域の活性化に資する人材育成のための連携	③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進	取組1	WILL BEプロジェクト「テーマ型の学生交流プロジェクト」(3プログラム)	各年参加者数50名以上	1,010	0	100	2,350
							取組2	学生発信ブランディング「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」	情報公開数200取組以上	240	1,000		
教育連携	神戸大学	大手前大学	柱3	県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供	⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応	取組1	単位互換事業	各年開放科目数 10科目以上	520	0	100	700
							取組2	多様な学修機会の提供	各年プログラム数 5件以上	80	0		
キャリア	関西学院大学	関西福祉大学 甲南女子大学 神戸国際大学	柱1	地域の活性化に資する人材育成のための連携	①	地域の活性化のための県内企業への就職率の向上(加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携)	取組1	大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プログラム	本プログラムへの参加を通じて兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上	0	5,248	100	12,488
							取組2	県内企業・団体等の魅力を情報発信	情報公開企業・団体数 120社以上	0	0		
			柱2	“ひょうご神戸”の国際性を活かしたグローバル教育支援	④	外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進	取組1-1	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上	1,000	0		
							取組1-2	外国人留学生採用フロンストップ支援事業		0	6,140		
高大連携	関西国際大学	神戸親和女子大学	柱1	地域の活性化に資する人材育成のための連携	②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続	取組1	大学と高等学校の意見交換会の実施「ひょうご高等学校大学コンソーシアム」	各年参加校数 20校以上	200	0	100	600
							取組2	加盟校の魅力を情報発信	各年情報提供先数 高等学校等200か所以上	300	0		
FD・SD	甲南大学	神戸市看護大学	柱3	県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供	⑥	大学教職員の研修機会の提供と交流の促進	取組1	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	各年セミナー 5件以上	0	0	100	600
							取組2	FD・SD情報交換会、セミナー等の開催	各年参加者数 50名以上	500	0		
企画運営	神戸大学	甲南大学	柱3	県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供	⑧	県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進	取組1	リカレント教育の普及促進に向けた取組	各年参加者数 50名以上	0	500	600	
							取組2	加盟校のリカレント教育に関する情報発信	各年10校以上	0			
			柱4	県内大学が活性化する大学連携組織としての運営体制の構築	⑨	大学資源を活用する地域プラットフォームの形成	取組1	大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築	大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充	50	0		
							取組2	緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築	50	0		
取組1	加盟校が活性化する事業運営体制の整備	⑩	県内大学が活性化する事業運営体制の整備	取組1	加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築	0	0						

中長期計画Ⅱ期	
柱1	柱2
柱3	柱4

4,000	22,511	600	27,111
-------	--------	-----	--------

## 2023年度 予算(案)

(単位:千円)

区分	2022年度 予算	2023年度 予算(案)	前年計画差	備考
収入				
会費収入	19,974	20,437	463	注1
特別会費(タイプ5特別分担金)	16,540	17,280	740	
受託事業収入	27,559	22,511	-5,048	注2
共催事業収入	0	0	0	
助成事業収入	0	0	0	
雑収入				
戻入金				
当期収入計	64,073	60,228	-3,845	(a)
前期繰越金	44,093	44,207	114	(b)
計	108,166	104,435	-3,731	

支出	2022年度			2023年度			前年計画差	備考
	コンソ予算	受託事業等	合計	コンソ予算	受託事業等	合計		
国際交流事業	50	9,625	9,675	50	9,625	9,675	0	注2-1 受託事業 9,625
学生交流事業	1,950		1,950	1,250	1,000	2,250	300	注2-2 受託事業 1,000
教育連携事業	600		600	600		600	0	
キャリア事業	400	17,434	17,834	1,000	11,386	12,386	-5,448	注2-3,2-4 受託事業 10,386
高大連携事業	400		400	500		500	100	
FD・SD事業	500		500	500		500	0	
企画運営委員会	100	500	600	100	500	600	0	注2-5 受託事業 500
	4,000	27,559	31,559	4,000	22,511	26,511	-5,048	
各事業委員会事務局			600			600	0	
事業予算計			32,159			27,111	-5,048	
事務局人件費			29,800			29,800	0	委託事業を除く事務局人件費
管理・共通運営費等			2,000			3,300	1,300	
管理・共通運営費等計			31,800			33,100	1,300	
当期支出計			63,959			60,211	-3,748	(c)
当期収支差額			114			17	-97	(a) - (c)
次期繰越金			44,207			44,224	17	(a) + (b) - (c)
計			108,166			104,435	-3,731	

注1 会員数39(31大学、7短期大学・短期大学部、1高等専門学校)(32法人)

在籍学部学生総数106,133人(2022年5月1日現在 学校基本調査)

賛助会員 企業35社

注 2-1 独立行政法人日本学生支援機構「兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業」

国際交流委員会 9,625(千円)

2-2 兵庫県「大学間連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画の作成業務」

学生交流委員会 1,000(千円)

2-3 兵庫県「外国人留学生採用ワンストップ支援事業」

キャリア委員会 6,140(千円)

2-4 兵庫県「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」

キャリア委員会 5,246(千円)

2-5 兵庫県「リカレント教育推進事業」

企画運営委員会 500(千円)

合計

22,511(千円)

## 【2023年度 国際交流委員会 事業計画(案)】

国際交流委員会

委員長校 : 兵庫県立大学

副委員長校: 神戸市外国語大学

委員校:

(委員校は、加盟校からの2023年度申請を踏まえ、事務局にて更新致します)

## &lt;目的&gt;

「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとしてグローバル人材育成を目指した事業を展開する。

## &lt;内容&gt;

- 1、兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業
- 2、加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業
  - ・学生海外派遣プログラム
  - ・模擬国連演習(JUEMUN)
  - ・事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム

## &lt;期待される効果&gt;

- 1、兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業  
 学生が主体的に学ぶことによる行動の変容、大学連携・産官学連携による留学生支援の新たな課題とニーズの取組促進、高度外国人材としての留学生の理解促進等の効果が期待される。
- 2、加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業  
 各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムを加盟校に開放することで、自学では得ることができない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、幅が広がることが期待される。  
 また、加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待される。

課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流推進		予算額
【取組1】	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業	9,625,000円 * 受託事業収入
【取組2】	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム ②模擬国連演習(JUEMUN) ③事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム	50,000円

2023年度 国際交流委員会 事業予算(案)

(単位：円)

	予算	各プログラム 予算				委員会 予算	
		【取組1】		【取組2】			
		兵庫国際交流会館における 国際交流拠点推進事業 (JASSO受託事業)		加盟校の国際交流プログラムとの 連携促進事業		内訳	予算額
		内訳	予算額	内訳	予算額		
収入	会費収入	150,000			50,000		100,000
	助成事業収入	0					
	受託事業収入	9,625,000	JASSO受託事業収入	9,625,000			
	プログラム収入	0					
	雑収入	0					
	戻入金	0					
	計	9,775,000		9,625,000		50,000	100,000
	支出	会議費	80,000	会議費	80,000		
旅費交通費		140,000	旅費	100,000		20,000	旅費交通費 20,000
通信運搬費		70,000	郵便、通信費	50,000			通信運搬費 20,000
消耗品費		50,000	消耗品費	50,000			
新聞図書費		10,000	新聞図書費	10,000			
印刷製本費		30,000				30,000	
光熱水料費		0					
賃借料		40,000	賃借料	40,000			
保険料		0					
謝金		1,211,000	諸謝金	1,161,000			50,000
租税公課		0					
支払手数料		22,000	振込手数料	22,000			
諸会費		0					
委託費		852,000	HP制作費・業務委託	852,000			
人件費		7,260,000	コーディネーター	7,260,000			
接待交際費		0					
支払支援金		0					
雑費		10,000					10,000
計		9,775,000		9,625,000		50,000	100,000

収入-支出	0
-------	---

【2023年度 学生交流委員会 事業計画(案)】

委員長校 : 神戸常盤大学

副委員長校: 神戸学院大学

委員校:

(委員校は、加盟校からの2023年度申請を踏まえ、事務局にて更新致します)

<目的> 委員会全体の「総論的な目的」(ねらい)

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について事業推進を行う。

取組課題③「大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進」

・年間を通し各委員校からの提案を協議し、大小問わず、魅力的、そして学生が地元地域への理解を深め、魅力を感じることができるプログラムを予算範囲内で可能な限り実施し、学生交大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について事業推進を行う。

取組課題③「大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進」

・年間を通し各委員校からの提案を協議し、大小問わず、魅力的、そして学生が地元地域への理解を深め、魅力を感じることができるプログラムを予算範囲内で可能な限り実施し、学生交流を活性化させることを目的とする。

上記取組を推進する体制の構築並びに、必要なプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

<内容> 全体から見た、小プログラムの組み立て方について

取組課題③に対する「個別取組」は、下記の通り。

【取組1】テーマ型の学生交流プロジェクトの実施

他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクト全体を「WILL BEプロジェクト」の総称で位置付け、実施する(例: 地元企業・団体等と連携した取組など)。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。

【取組2】加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施

加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報では、コンソHPへの記事掲載を計画・実施する。掲載文等を考えることで自主性や文書構成力を高めることを目的とする。地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化のための貢献活動に取り組む。併せてコンソの認知度を高める

また事業の実施体制として、ユニット制での実施を継続して実施する。上記2事業に基づく2ユニットの

いずれにも全委員校が参加し、ユニットごとに企画立案から多くの加盟校が主体的に参画することにより、学生交流の実質化に繋げる。

<期待される効果> 下記すべてのプログラムを行うことで、得られる「総論的な効果」

他大学の学生との交流、社会人との交流等の場を提供することによる効果は以下の通り。

【取組1】学生が地域・企業との連携・協働を通じた様々な社会貢献活動に、地元企業や自大学以外の学生と一緒に参加することで地域の魅力、または課題を直に感じ、理解を深め、そして解決策を自発的に考える効果が期待できる。

【取組2】参加した学生に様々な交流、広報活動を促すことにより、学生自らが他大学の学生と協働し、企画を実現することで主体性・実行力・発信力が向上する。また学生がメディア等を活用した周知に取り組むことで、自主性や文書構成力等を高めることを目的とする。併せてコンソの認知度を高める。

上記2つの取組により、コンソ加盟校の学生において本事業での経験が大学4年間の生活の充実に資する効果が期待できる。

	課題③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進	予算額
取組1	WILL BEプロジェクト 「テーマ型の学生交流プロジェクト」	1,010,000円
取組2-1	学生発信ブランディング 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」	240,000円
取組2-2	学生発信ブランディング 「大学間連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成業務」	1,000,000円 * 受託事業収入

2023年度 学生交流委員会 事業予算(案)

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算						委員会 予算		
		取組1		取組2-1		取組2-2				
		内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額	
＜内容＞ 全体から見た、小プログラム	会費収入	1,350,000	1,010,000		240,000				100,000	
	助成事業収入	0								
	受託事業収入	1,000,000				兵庫県危機管理部委託業務	1,000,000			
	プログラム収入	0								
	雑収入	0								
	戻入金	240,000円								
	計	2,350,000	1,010,000		240,000		1,000,000		100,000	
支出	会議費	120,000	交流会・反省会	100,000		会議費	10,000	会議費	10,000	
	旅費交通費	830,000	交通費・昼食費	700,000	交通費・昼食費	30,000	交通費・昼食費	90,000	旅費交通費	10,000
	通信運搬費	70,000			通信費	10,000	通信費	50,000	通信費	10,000
	消耗品費	260,000	消耗品	10,000			消耗品	240,000	消耗品	10,000
	新聞図書費	10,000					参考図書	10,000		
	印刷製本費	50,000					チラシ等作成費	50,000		
	光熱水料費	0								
	賃借料	0								
	保険料	0								
	謝金	600,000	講師等謝金	50,000	謝金・原稿料等	200,000	講師等謝金	350,000		
	租税公課	0								
	支払手数料	30,000							振込手数料	30,000
	諸会費	150,000	ブース等出店料	150,000						
	委託費	230,000					製作費等	200,000	各プログラムHPIに係る予備費	30,000
	人件費	0								
	接待交際費	0								
	支払支援金	0								
雑費	0									
	計	2,350,000	1,010,000		240,000		1,000,000		100,000	

収入－支出	0
-------	---

## 【2023年度 教育連携委員会 事業計画(案)】

委員長校 :神戸大学

副委員長校:大手前大学

委員校:

(委員校は、加盟校からの2023年度申請を踏まえ、事務局にて更新致します)

### <目的>

加盟校の教育・研究の質を高める「多元的学び」を提供する取り組みとして、加盟校の教育事業についての相互連携、教育資源及びテクノロジー活用に関する相乗効果を図る。  
「大学間連携による多様な教育ニーズ」に対応する教育活動を通じて、多様な学生の交流を促進し、学修動機と学修経験の強化、教育効果の向上を目指す。  
さらに、学生の所属校の垣根を越えた学びに対して単位認定の道を開くことで、学生が幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性の涵養を図るとともに、コンソーシアム事業への参画の動機づけや、地域貢献活動の実現も期待する。

### <内容>

#### 1. 単位互換事業の実施

加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。その際に「多様なメディアを高度に利用した」科目等も取り入れる。

#### 2. 多様な学修機会の提供

加盟校に通う学生等に多様な学修機会を提供するため、加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する。

### <期待される効果>

#### 1. 単位互換事業の実施

- (1) 「多様なメディアを高度に利用した」授業科目を本格的に取り入れることで、大学間の地理的・時間的課題を解消し、より多くの学生に大学の枠を超えた学びの場の提供をすることによる教育効果の向上。
- (2) コンソーシアム事業(国際交流、地域連携、社会連携等)に対する学生への意識づけの促進。

#### 2. 多様な学修機会の提供

- (1) 加盟校の教育資源を活用する「多元的学びの機会」を継続的に提供することによる、加盟校の教育事業についての相互連携、教育・研究の質の向上。
- (2) 異なる分野の学生等の交流促進による広い視野を持った人材の育成。

課題⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応		予算額
取組1	単位互換事業	520,000円
取組2	多様な学修機会の提供事業	80,000円

2023年度 教育連携委員会 事業予算(案)

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算				委員会 予算		
		取組1		取組2				
		単位互換事業		多様な学修機会の提供事業		内訳	予算額	
		内訳	予算額	内訳	予算額			
収入	会費収入	700,000		520,000		80,000		100,000
	助成事業収入	0						
	受託事業収入	0						
	プログラム収入	0						
	雑収入	0						
	戻入金	0						
	計	700,000		520,000		80,000		100,000
	支出	会議費	10,000					検討委員会開催費
旅費交通費		10,000					旅費交通費	10,000
通信運搬費		33,000					郵送料	33,000
消耗品費		0						
新聞図書費		0						
印刷製本費		140,000	ポスター・チラシ制作費	140,000				
光熱水料費		0						
賃借料		0						
保険料		0						
謝金		130,000	ポスター・チラシデザイン謝金	80,000	講師等謝金	50,000		
租税公課		0						
支払手数料		4,000					振込手数料	4,000
諸会費		30,000			Eラーニング協議会会費	30,000		
委託費		333,000	単位互換HP更新費	300,000			各プログラムHPに係る予備費	33,000
人件費		0						
接待交際費		0						
支払支援金		0						
雑費	10,000					委員長校・副委員長校連絡調整等	10,000	
計	700,000		520,000		80,000		100,000	

収入－支出	0
-------	---

## 【2023年度 キャリア委員会 事業計画(案)】

委員長校 : 関西学院大学

副委員長校: 関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学

委員校:

(委員校は、加盟校からの2023年度申請を踏まえ、事務局にて更新致します)

### <目的>

兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟する大学間連携組織の特徴を生かして、グローバル、ローカルに活躍する人材育成を目指した事業を、県内企業、行政、加盟校キャリアセンターと共に展開する。

### <内容>

1. 大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト
2. 県内企業・団体等の魅力を情報発信
3. 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム
4. 外国人留学生採用ワンストップ支援事業

### <期待される効果>

1. 地域創生の推進にあたり県外への人口流出を抑制するために、県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深め共に連携する機会を提供することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、大学生の県内企業への理解不足を解消し、地域の活性化を実現することが期待される。
2. 地域の活性化のためのUJIターン就職の促進と地域産業ニーズに対応した人材育成が期待できる。
3. 各加盟校単独では実施が困難だと思われる、「留学生に特化したインターンシップ」や「合同企業説明会」実施に向けて、持続可能な仕組みづくりが期待される。
4. 外国人留学生を企業が受け入れるための体制支援を強化し、外国人留学生採用のためのワンストップ相談窓口をコンソが担うことで、大学、行政、企業が連携した新たなネットワークを構築が期待できる。

課題① 地域の活性化のための県内企業への就職率の向上		予算額
取組1	大学連携組織を活用した 県内大学生の地元就職促進プロジェクト	5,246,000円 * 受託事業収入
取組2	県内企業・団体等の魅力を情報発信	0円
課題④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進		予算額
取組1-1	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	1,000,000円
取組1-2	外国人留学生採用ワンストップ支援事業	6,140,000円 * 受託事業収入

※事業計画実施の際は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため、イベントの内容・方法の変更などについて、状況に応じて委託元の兵庫県とも協議のうえ実施する。

## 2023年度 キャリア委員会 事業予算(案)

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算								委員会 予算		
		①取組1		①取組2		④取組1-1		④取組1-2				
		大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト		県内企業・団体等の魅力を情報発信		留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム		外国人留学生採用ワンストップ支援事業				
		内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額			
収入	会費収入	1,100,000				会費収入	1,000,000			会費収入	100,000	
	助成事業収入	0										
	受託事業収入	11,386,000	兵庫県受託事業	5,246,000					兵庫県受託事業	6,140,000		
	プログラム収入	0										
	雑収入	0										
	戻入金	0										
	計	12,486,000		5,246,000		0		1,000,000		6,140,000		100,000
支出	会議費	0										
	旅費交通費	231,000	打合せ交通費	31,000				打合せ交通費	200,000			
	通信運搬費	400,000	チラシ送付費	200,000				チラシ送付費	200,000			
	消耗品費	270,000	消耗品費	150,000				消耗品費	120,000			
	新聞図書費	0										
	印刷製本費	470,000	チラシ等印刷費	200,000				チラシ等印刷費	200,000	資料印刷費	70,000	
	光熱水料費	0										
	賃借料	800,000	イベント会場費・PCリース	300,000			イベント会場費・PCリース	200,000	イベント会場費・PCリース	300,000		
	保険料	0										
	謝金	650,000	講師謝金	300,000			講師謝金	250,000	講師謝金	100,000		
	租税公課	50,000	収入印紙	10,000					収入印紙	10,000	講師軽食等	30,000
	支払手数料	20,000	振込手数料	10,000					振込手数料	10,000		
	諸会費	145,000	会費	45,000			神戸市合同企業説明会	100,000				
	委託費	1,050,000					HP製作費	50,000	社労士・行政書士委託費	1,000,000		
	人件費	8,400,000	コーディネーター費	4,000,000			パート・アルバイト代金	400,000	コーディネーター・相談員費	4,000,000		
	雑費	0										
計	12,486,000		5,246,000		0		1,000,000		6,140,000		100,000	

支出－収入	0
-------	---

## 【2023年度 高大連携委員会 事業計画(案)】

委員長校 : 関西国際大学

副委員長校: 神戸親和女子大学

委員校:

(委員校は、加盟校からの2023年度申請を踏まえ、事務局にて更新致します)

### <目的>

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について、事業推進を行う。

【取組課題②】県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続

上記の体制の構築並びに、必要な新規のプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

<内容> 取組課題②に対する「個別取組」は、下記の通り。

#### 1. 大学と高等学校の意見交換会の実施

教育委員会等と連携して、兵庫県下の高等学校と大学との意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」等において、兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換を行う。

#### 2. 加盟校の魅力を情報発信

加盟校に関する情報発信を強化し、加盟校への進学率の向上を図る。  
生徒が高校生から大学生、社会人になるまでの学びのルートマップを描けるような情報を発信する。

上記の取組について、運営体制の構築と推進は、中長期計画Ⅱ期5ヵ年において段階的に取り組む。  
期中において新規事業やプロジェクト企画の必要性がある場合は、本委員会にて検討して事業推進を行う。

### <期待される効果>

#### 1. 大学と高等学校の意見交換会の実施

兵庫県立高等学校と設置した意見交換の場「ひょうご高校大学コンソーシアム」を継続的に開催していくことにより、県下大学と高校の高大連携をめぐる多くの課題を共有し、県内大学と高校における教育の連携を通じた人材育成の取り組みを促進する。大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークを構築が期待できる。

#### 2. 加盟校の魅力を情報発信

高校並びに教職員・学生に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する。さらには、生徒の大学進学後の学生生活の充実と大学で主体的に学び続ける意欲を高める効果が期待できる。

課題② 県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続		予算額
取組1	大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」	200,000円
取組2	加盟校の魅力を情報発信	300,000円

2023年度 高大連携委員会 事業予算(案)

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算				委員会 予算		
		取組1		取組2				
		大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」		加盟校の魅力を情報発信		内訳	予算額	
		内訳	予算額	内訳	予算額			
収入	会費収入	600,000		200,000		300,000		100,000
	助成事業収入							
	受託事業収入							
	プログラム収入							
	雑収入							
	戻入金							
	計	600,000		200,000		300,000		100,000
	支出	会議費	10,000					お茶代等
旅費交通費		30,000	交通費	20,000			旅費交通費	10,000
通信運搬費		100,000			通信費等	90,000	通信運搬費等	10,000
消耗品費		15,000	消耗品	5,000			消耗品	10,000
新聞図書費		10,000					参考図書	10,000
印刷製本費		35,000			チラシ等	35,000		
光熱水料費		0						
賃借料		35,000	会場費	35,000				
保険料		0						
謝金		315,000	謝金	140,000	謝金	175,000		
租税公課		0						
支払手数料		10,000					振込手数料	10,000
諸会費		10,000					フォーラム等参加費	10,000
委託費		30,000					各プログラムHPIに係る 予備費	30,000
人件費		0						
接待交際費		0						
支払支援金		0						
雑費		0						
計	600,000		200,000		300,000		100,000	

収入－支出	
-------	--

## 【2023年度 FD・SD委員会 事業計画(案)】

委員長校 : 甲南大学

副委員長校: 神戸市看護大学

委員校:

(委員校は、加盟校からの2023年度申請を踏まえ、事務局にて更新致します)

<目的> 委員会全体の「総論的な目的」(わらい)

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「3. 県内大学の教育・研究の質を高める多面的学びの提供」の推進に向けて、以下の取組課題について、事業推進を行う。

【取組課題⑥】大学教職員の研修機会の提供と交流の促進

教職員の資質を向上させることを目的とした研修の機会を継続的に提供する。県下の大学等高等教育機関の関係者に研修交流機会を提供することにより、相互の立場で具体的な施策に結びつく議論が行われる、関連な意見交換の場を創出する。

以上の体制の構築並びに、必要な取り組みは本委員会にて実施する。

<内容> 全体から見た、小プログラムの組み立て方について

1.加盟校間でのFD・SDセミナーの公開

加盟校が自学で開講している多様な研修プログラムを加盟校に開放することにより、加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供する。教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

・「大学運営」に関する科目の受講支援等

2.FD・SD情報交換会、セミナー等の開催

加盟校に有益な公開セミナーを実施することで、教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

・FD・SDトップセミナー等

以上の取組について、運営体制の構築と推進は、中長期計画Ⅱ期5か年において段階的に取り組む。

期中において新規事業やプロジェクト企画の必要性がある場合は、本委員会にて検討して事業推進を行う。

<期待される効果> 下記すべてのプログラムを行うことで、得られる「総論的な効果」

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校教職員の資質向上に寄与し、加盟校の担当者間の情報交換・交流や加盟校間での人材交流を促進する場が提供できる。

課題⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進		予算額
取組1	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	0円
取組2	FD・SD情報交換会、セミナー等の開催	500,000円

2023年度 FD・SD委員会 事業予算(案)

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算				委員会 予算	
		取組1		取組2			
		加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開		FD・SD情報交換会、セミナー等の開催		内訳	予算額
		内訳	予算額	内訳	予算額		
収入	会費収入	600,000			500,000		100,000
	助成事業収入	0					
	受託事業収入	0					
	プログラム収入	0					
	雑収入	0					
	戻入金	0					
	計	600,000	0		500,000		100,000
支出	会議費	110,000		懇親会	100,000	会議費	10,000
	旅費交通費	90,000		講師等交通費	80,000	旅費交通費	10,000
	通信運搬費	10,000				通信運搬費	10,000
	消耗品費	30,000		消耗品費	20,000	消耗品費	10,000
	新聞図書費	0					
	印刷製本費	0					
	光熱水料費	0					
	賃借料	105,000		会場費等	80,000	賃借料	25,000
	保険料	0					
	謝金	220,000		講師等謝金	220,000		
	租税公課	0					
	支払手数料	5,000				振込手数料	5,000
	諸会費	0					
	委託費	30,000				各プログラムHPIに係る予備費	30,000
	人件費	0					
	接待交際費	0					
	支払支援金	0					
雑費	0						
計	600,000	0		500,000		100,000	

収入－支出	0
-------	---

**【2022年度 企画運営委員会 事業計画(案)】**

委員長校 : 神戸大学

副委員長校: 甲南大学

委員校 : 関西国際大学、関西学院大学、神戸市外国語大学、神戸市看護大学、神戸女子大学、神戸親和女子大学

神戸親和女子大学、神戸常盤大学、兵庫県立大学 (以上11校)

<目的>

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「3.県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供」と柱「4.県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築」に向けて、以下の取組課題3点について、取り組む。

- 取組課題⑧「県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進」  
(柱3.県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供)
- 取組課題⑨「大学資源を活用する地域プラットフォームの形成」  
(柱4.県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築)
- 取組課題⑩「県内大学が活性化する事業運営体制の整備」  
(柱4.県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築)

上記の体制の構築並びに、必要な新規のプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

<内容> 取組課題⑧～⑩に対する「個別取組」は、下記の通り。

- 【取組課題⑧】(1)リカレント教育の普及促進に向けた取組  
(2)加盟校のリカレント教育に関する情報発信
- 【取組課題⑨】(1)大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築  
(2)緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築
- 【取組課題⑩】(1)加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進

上記課題について、運営体制の構築と推進は、中長期計画Ⅱ期5か年において段階的に取り組む。期中において新規事業やプロジェクト企画の必要性がある場合は、本委員会にて検討し、各事業委員会と連携して事業推進を担当する。

<期待される効果>

【取組課題⑧】「**県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進**」  
近年、加盟校においても取組が進む社会人教育に着目して、加盟校並びに産官学連携のネットワークを活用した「リカレント教育」の普及促進に寄与する。加盟校の特徴を活かしたリカレント教育の理解促進を図ることができる。

【取組課題⑨】**大学資源を活用する地域プラットフォームの形成**  
定期的に加盟校の情報を収集することで、地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充、並びに、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築ができる。

【取組課題⑩】**県内大学が活性化する事業運営体制の整備**  
事業運営体制が整備されることで、同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進など、加盟校のニーズと実態に合わせた事業運営を実現できるようになる。加盟校が協働して大学間連携事業に取り組むことで、県内大学が活性化につながる。

課題⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進		予算額
取組 1・2	・リカレント教育の普及促進に向けた取組 ・加盟校のリカレント教育に関する情報発信	500,000円 ※受託事業収入
課題⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成		予算額
取組 1・2	・大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 ・緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	100,000円
課題⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備		予算額
取組1	・加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	0円

2023年度 企画運営委員会 事業予算(案)

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算						委員会 予算	
		⑧		⑨		⑩			
		県内大学を活用した 社会人の学び直しの推進		大学資源を活用する 地域プラットフォームの形成		県内大学が活性化する 事業運営体制の整備			
		内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額		
収入	会費収入	100,000			100,000				
	助成事業収入	0							
	受託事業収入	500,000	兵庫県受託事業	500,000					
	プログラム収入	0							
	雑収入	0							
	戻入金	0							
	計	600,000		500,000		100,000		0	
支出	会議費	0							
	旅費交通費	72,000	交通費	72,000					
	通信運搬費	50,000	通信費等	50,000					
	消耗品費	20,000	文具等	20,000					
	新聞図書費	1,800	参考図書	1,800					
	印刷製本費	0							
	光熱水料費	0							
	賃借料	70,000	会場費等	20,000	懇親会会場費	50,000			
	保険料	0							
	講師謝金	230,000	謝金	180,000	謝金	50,000			
	租税公課	200	収入印紙	200					
	支払手数料	6,000	振込手数料	6,000					
	諸会費	0							
	委託費	0							
	人件費	150,000	人件費	150,000					
	接待交際費	0							
	支払支援金	0							
	雑費	0							
計	600,000		500,000		100,000		0		0

収入-支出	0
-------	---

# 令和4年度私立大学等改革総合支援事業 タイプ3プラットフォーム型申請結果

2023年3月22日

# 令和4年度私立大学等改革総合支援事業 採択結果

---

1)タイプ3プラットフォーム型（共通設問25問、64点満点）

採択基準 = 42点(66%)

⇒ひょうご産官学連携協議会 = 55点(86%)

2)個別申請（個別設問21問、48点満点）

採択基準 = 23点(48%)

採択校

大手前大学  
関西国際大学  
関西学院大学  
甲南大学

神戸学院大学  
神戸松蔭女子学院大学  
神戸親和女子大学  
計7校

以上

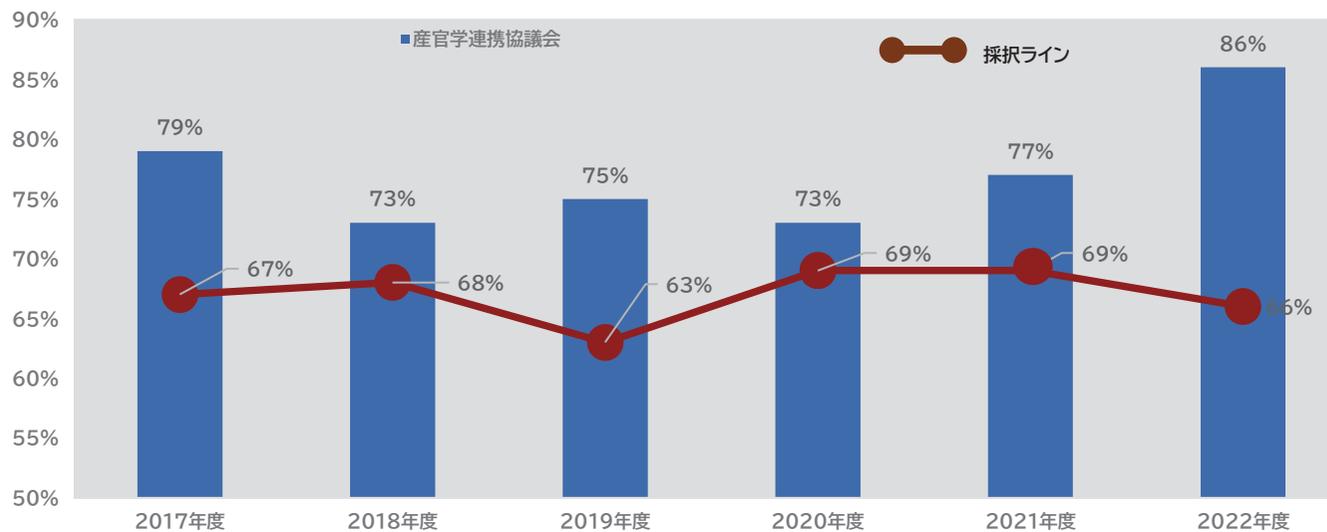
# 私立大学等改革総合支援事業への申請状況

		2017年度 (平成29年)	2018年度 (平成30年)	2019年度 (令和元年)	2020年度 (令和2年)	2021年度 (令和3年)	2022年度 (令和4年)	
私立大学等改革総合支援事業		176億円	131億円	147億円	114億円	110億円	112億円	
申請タイプ		タイプ5 都市型	タイプ5 発展型 I	タイプ3 プラットフォーム型 (都市型)				
共通設問	設問数	27	30	30+4 (加点項目)	34	26	25	
	満点	84	74	76	78	70	64	
	選定条件	点数	56	50	48	54	48	42
		%	67%	68%	63%	69%	69%	66%
	ひょうご 産官学連 携協議会	ひょうご PF	66	54	57	57	54	55
		%	79%	73%	75%	73%	77%	86%
個別設問	設問数	23	24	22	22	20	21	
	満点	54	50	50	50	47	48	
	選定条件	点数	—	17	17	19	23	23
		%	—	34%	34%	38%	49%	48%
	ひょうご 産官学連 携協議会	個別申請 校	14校	19校	7校	8校	9校	9校
		採択校	14校	5校	5校	4校	4校	7校

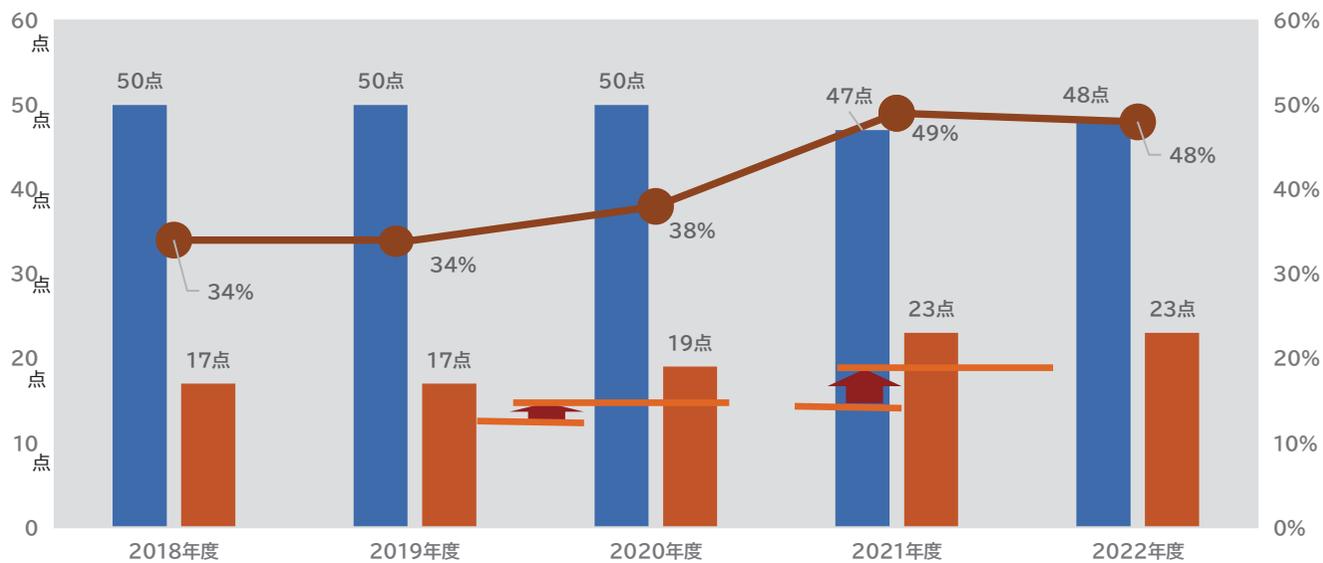
前年比9%  
UP

# タイプ3プラットフォーム型採択ラインと得点推移

## <共通設問>



## <個別設問>



【今年度の共通設問点数】55点/64点(86%)前年比9%UP】

## 共通設問における加点及び今後の課題

### 【今年度新たに加点となった共通設問】

項目	求められる要件	昨年	見込	加点要素
地域におけるリスクマネジメント体制	大学等や地方自治体、産業界等が連携して、地域における様々なリスク(例:災害、事件・事故、大学等の経営破たん等)に対するリスクマネジメント体制(例:マニュアル、定期的評価等)がPFとして構築できていること。	0	3	緊急時連絡・連携体制図を作成
人事交流の実施	地方自治体(又は産業界)と大学間及びPF参画大学等の間で企画又は実施している。	2	4	PF参画大学間の非常勤講師の人事交流の追加
共同研究の実施	地方自治体(又は産業界)と共同研究を実施している。	2	3	神戸大学と兵庫県との共同研究を追加
共同IRの実施	1.共同でIRを実施し、結果を地方自治体及び地元産業界等と共有及び議論等を行っている。 2.共同でIRを実施している。	2	3	行政及び地元産業界との共有及び協議書の追加
就職促進の取組の実施	PF参画大学等の7割以上の大学が参画して実施した。	1	2	キャリア委員会担当者、就職支援担当者、キャリア事業参加大学一覧などで7割カバー
合計		7	15	

【今後の課題】+9点で満点(64点)を狙うには下記への対応が必要

- 地方自治体の長が定期的に参画する協議体制の構築(1点)とPF運営そのものに対する金銭的な支援(2点)
- PF参画している私立大学の7割(23校)が個別設問への申請(2点)
- PF参画の複数の大学が奨学金制度を設けて、PF参画大学の学生に対して就学を経済的に支援する取組(1点)
- PF参画大学等の間で、大学事務の共同実施 (500万円以上の備品の共同購入又は業務システムの共同開発、導入。)(3点)

# 私立大学等改革総合支援事業 とは

## 私立大学等改革総合支援事業

令和4年度予算額  
(前年度予算額)

112億円  
110億円



### 事業概要

「Society5.0」の実現に向けた特色ある教育研究の推進や高度研究を実現する体制・環境の構築、地域社会への貢献、社会課題を解決する研究開発・社会実装の推進など、自らの特色・強みや役割の明確化・伸長に向けた改革に全学的・組織的に取り組む大学等を重点的に支援する。

### 基本スキーム (イメージ)

※ 1校当たりの特別補助交付額：タイプ1、3、4は1,000万円程度、タイプ2は2,500万円程度を想定  
(各選定校数等により変動。このほか、一般補助における増額措置。)

### タイプ 1

「『Society5.0』の実現等に向けた特色ある教育の展開」

105校程度

- 「Society5.0」時代に求められる力を養う、文理横断的な教育プログラムの実施、リベラルアーツ教育の推進等、新たな時代を生きる学生に対する教育機能の強化を促進
- 入学者選抜の充実強化、高等学校教育との連携強化等、高大接続改革への取組を支援

### タイプ 2

「特色ある高度な研究の展開」

45校程度

- 研究基盤・支援体制の整備や国内外との頭脳循環の促進、他大学や研究機関等との連携による研究の推進など、特色ある研究の高度化・強化に向けた大学等の機能強化を促進

### タイプ 3

「地域社会の発展への貢献」

165校程度 (20~40グループ含む)

- 地域と連携した教育課程の編成や社会人の受入れ、地域の課題解決に向けた研究の推進など、地域の経済・社会、産業、文化等の発展に寄与する取組を支援
- 大学間、自治体・産業界等との連携を進めるためのプラットフォーム形成を通じた、地域と大学等双方の発展に向けた取組を支援

### タイプ 4

「社会実装の推進」

80校程度

- 産業連携本部の強化や企業との共同研究・受託研究、知的財産・技術の実用化・事業化、産業界と連携した社会実装の推進に向けた取組を支援

令和4年度の全体の申請は、全国の私立大学の7割の609校が申請  
上記交付額+経常費補助金(一般補助、特別補助金)の交付額が増額

## タイプ3「地域社会の発展への貢献」プラットフォーム型個別設問

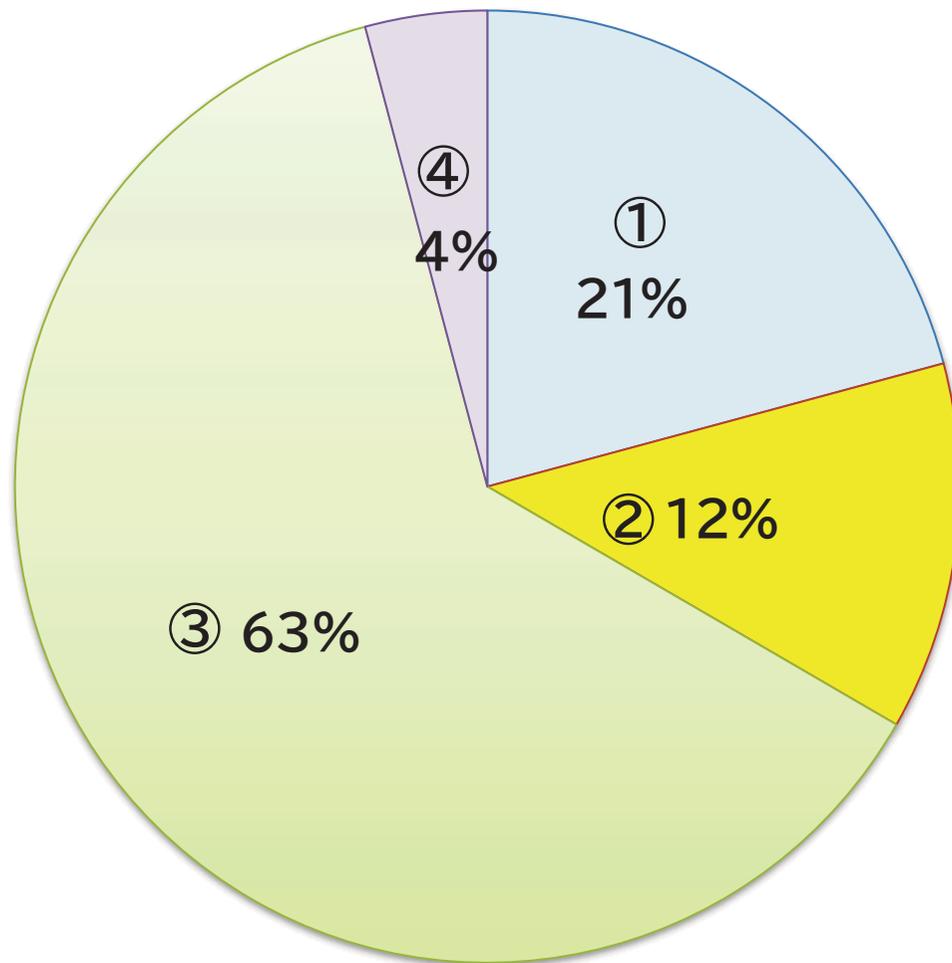
区分	番号	個別設問	配点
フ ォ ー ム 内 ラ の ツ 役 ト 割	①	自治体に参加する委員会等への参加	2点
	②	産業界等に参加する委員会等への参加	2点
	③	申請の取りまとめ	2点
	④	事務局体制における役割	3点
	⑤	取組責任者の有無	1点
			小計
制② の学 整内 備体	⑥	中長期計画の連動	4点
	⑦	特定の地域に係る正課の科目の開講	2点
			小計
③ 中長期 計画の 取組への 参画	⑧	単位互換等の取組の実施	4点
	⑨	単位互換等において開講している科目数	3点
	⑩	共同のFD・SDへの参画	2点
	⑪	教職員の人事交流への参加	3点
	⑫	共同研究への参加	2点
	⑬	施設・設備の共同利用	2点
	⑭	共同IRへの参加	2点
	⑮	学生募集の実施	2点
	⑯	地域での教育支援参画	2点
	⑰	共同公開講座への参画	2点
	⑱	キャリア形成共同プログラム	2点
	⑲	就職支援共同プログラムへ参画	2点
	⑳	大学事務への参画	2点
			小計
括総④	㉑	過年度との比較	2点
		小計	2点
		合計	48点

## タイプ3「地域社会の発展への貢献」プラットフォーム型個別設問

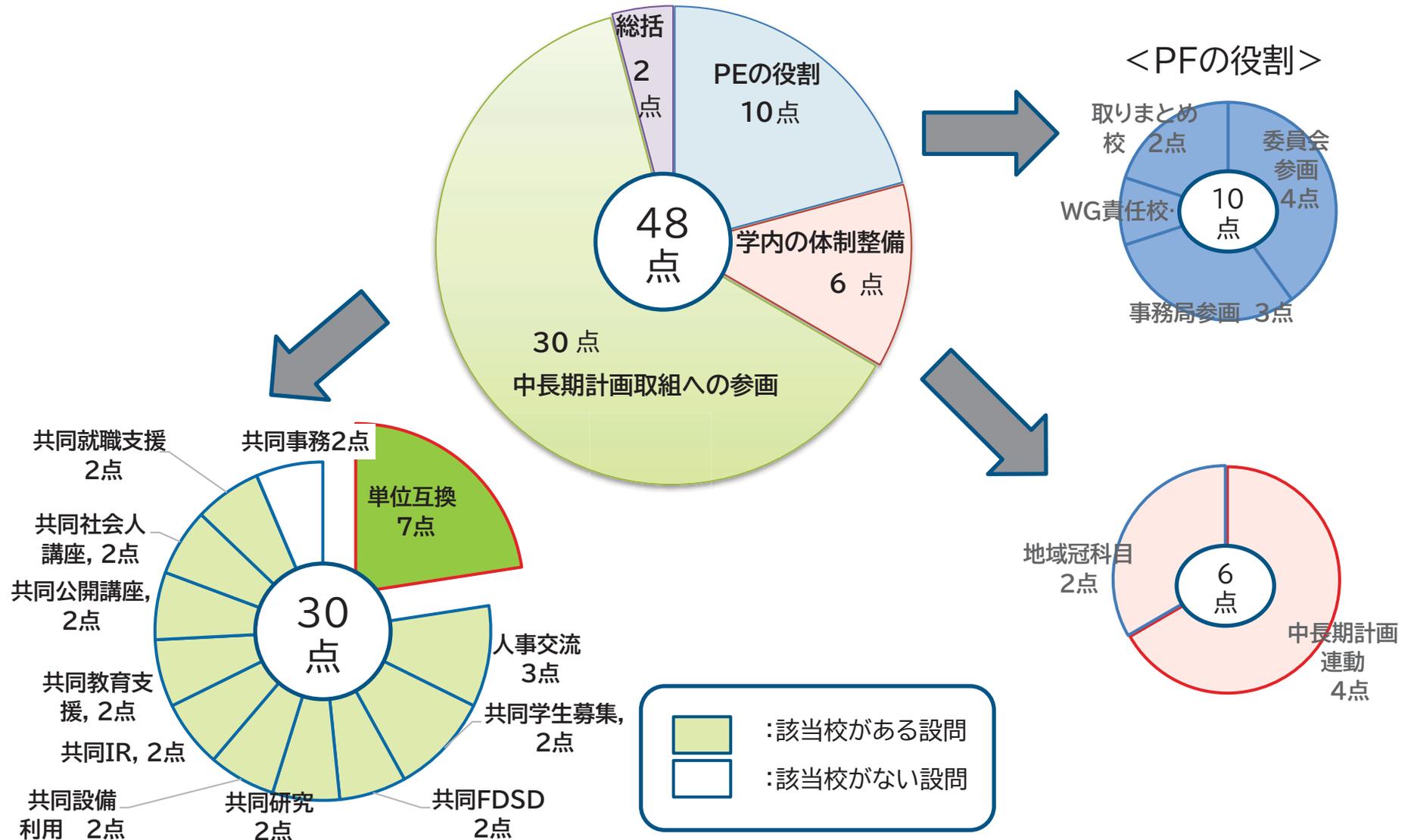
---

### 得点配分

■①PF内の役割 ■②学内の体制整備 ■③中長期計画取組への参画 ■④総括

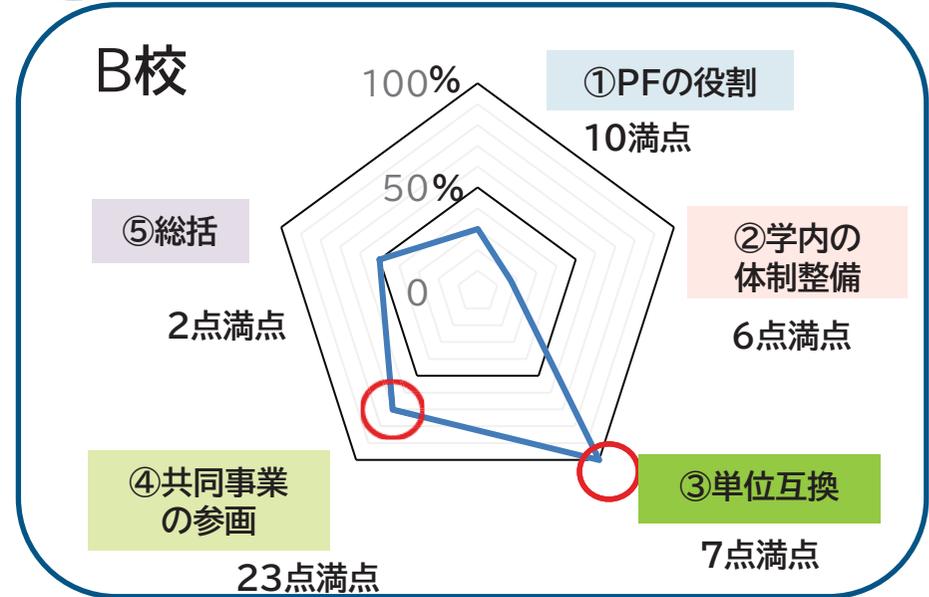
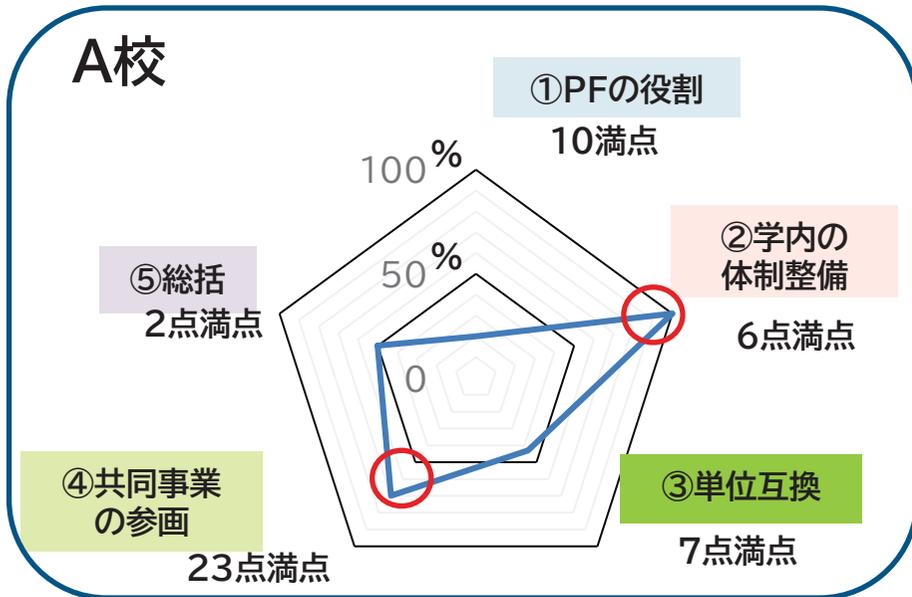
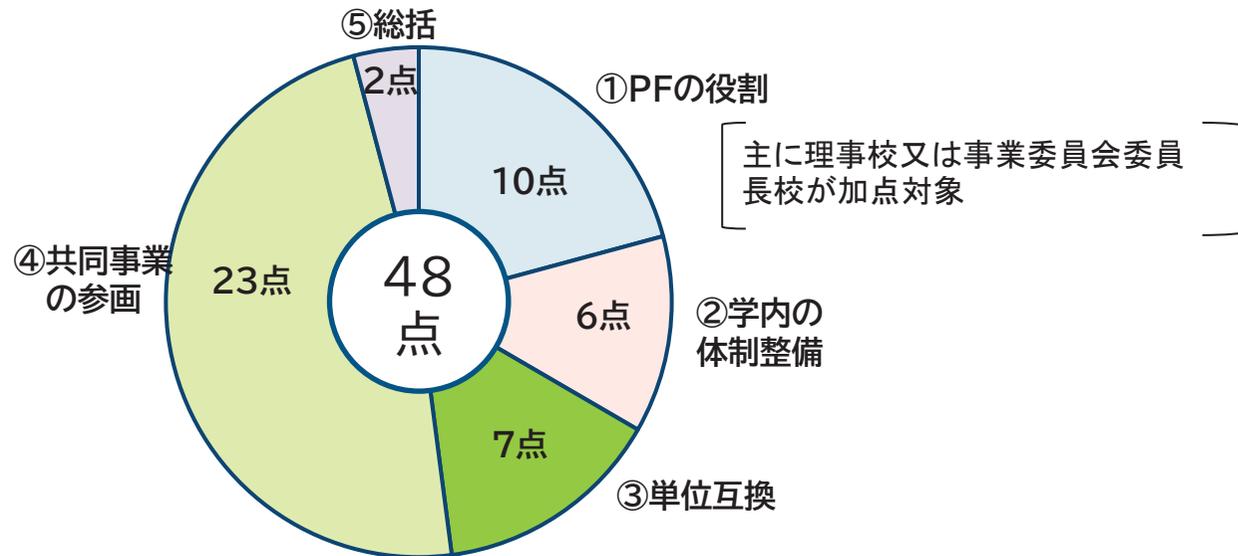


# タイプ3「地域社会の発展への貢献」プラットフォーム型個別設問



個別設問は、各校での個別取組の配点が高い、「単位互換」と「共同での取組」「中長期計画との連動」が鍵

# 個別採択校の加点イメージ



A校 中長期計画Ⅱ期との連動及び共同事業(人事交流、公開講座、共同研究、コンソ主催イベントへの参加)  
 B校 単位互換事業、共同事業(人事交流、公開講座、共同研究、コンソ主催イベントへの参加)強化によって採択が可能

## 問合せ先

---

タイプ3プラットフォーム型の個別申請に関してご興味、ご質問がある際は下記まで、お気軽にお問い合わせください。

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸  
担当： 大濱・山本・小畑

〒651-0072

兵庫県神戸市中央区脇浜町1丁目2-8

兵庫県国際交流会館1F

TEL:078-271-0233

E-mail: [kanri@consortium-hyogo.jp](mailto:kanri@consortium-hyogo.jp)

# 2022年度活動報告

# 一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸

## 設立

2006年6月12日（2016年4月1日 一般社団法人を設立）

## 正会員

39校（31大学、7短期大学・短期大学部、1高等専門学校）

## 特別会員

1団体（独立行政法人 日本学生支援機構）

## 賛助会員

34社（2022/12 11社新規入会）

## 学生数

約11万人

## 趣旨

国際性を中核に、兵庫県の特性をいかし、教育水準の向上と地域振興に貢献

## 事業

国際交流、学生交流、教育連携、キャリア  
高大連携、FD・SD事業を中心に、  
大学間連携、産官学連携を展開



外部  
環境

内部  
環境

**設立の趣旨（目的）「県下すべての大学による、すべての大学のためのコンソーシアム」**  
“国際性”を中核に、兵庫県及び神戸市の特性を活かしながら、高等教育機関が地域に不可欠な存在となることを目指して、教育・研究の充実と地域の行政や産業界との連携を図る。  
**地域社会の教育・文化の向上・発展に貢献し、あわせて教育環境の向上に寄与する。**

**コンソの目指す姿 「Diversity, Equity & Inclusion」**  
～多様なメンバーが 学校を超えて フラットに学び合い 繋がる～

**ビジョン**  
大学間連携・産官学連携で「人が繋がり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

**戦略**  
①情報共有と発信 ②人的交流の促進 ③ステークホルダーとの有機的連携

柱1 地域活性化  
に資する  
人材育成

柱2 グローバル  
教育支援

柱3 多学的学び  
の提供

柱4 運営体制の  
構築

目指す姿・ビジョン・戦略を実現するための **組織経営**

**事業委員会運営**

委員長校・副委員長校・委員校

**ひょうご産官学連携協議会**

自治体・経済団体

**事務局運営**

14名(4種の雇用形態)・可能性をつなぐ

**財政**

加盟校・賛助会員・特別会員  
(収入 約2000万円)

### 戦略

①情報共有と発信 ②人的交流の促進 ③ステークホルダーとの有機的連携

### 4本の柱

柱1

地域活性化  
に資する  
人材育成

柱2

グローバル  
教育支援

柱3

多角的学び  
の提供

柱4

運営体制の  
構築

【共通のテーマ】

大学間連携

高大・意見交換会

FDSDセミナー公開

加盟校の魅力・情報発信

留学生・日本人交流

FDSD情報交換会

連携体制構築

産官学連携

県内企業就職率の向上

加盟校の国際交流P

単位互換事業

リスクマネジメント

県内企業・情報発信

留学生キャリア

多様な学修機会提供

事業運営体制の整備

自学内での学び

学生交流プロジェクト

リカレント

加盟校の取組広報

国際交流委員会

学生交流委員会

教育連携委員会

キャリア委員会

高大連携委員会

FDSD委員会

企画運営委員会

# 大学コンソーシアムひょうご神戸 加盟校一覧 (39校)

	法人名	正会員名
1	独立行政法人 国立高等専門学校機構	1 明石工業高等専門学校
2	学校法人 芦屋学園	2 芦屋大学
3	学校法人 大手前学園	3 大手前大学
		4 大手前短期大学
4	学校法人 濱名山手学院	5 関西国際大学
5	学校法人 関西金光学園	6 関西福祉大学
6	学校法人 関西学院	7 関西学院大学
		8 聖和短期大学
7	学校法人 甲南学園	9 甲南大学
8	学校法人 甲南女子学園	10 甲南女子大学
9	国立大学法人 神戸大学	11 神戸大学
10	学校法人 都築学園	12 神戸医療未来大学
11	学校法人 海星女子学院	13 神戸海星女子学院大学
12	学校法人 神戸学院	14 神戸学院大学
13	学校法人 谷岡学園	15 神戸芸術工科大学
14	学校法人 八代学院	16 神戸国際大学
15	公立大学法人 神戸市外国語大学	17 神戸市外国語大学
16	公立大学法人 神戸市看護大学	18 神戸市看護大学
17	学校法人 松蔭女子学院	19 神戸松蔭女子学院大学
18	学校法人 神戸女学院	20 神戸女学院大学

	法人名	正会員名
19	学校法人 行吉学園	21 神戸女子大学
		22 神戸女子短期大学
20	学校法人 親和学園	23 神戸親和女子大学
21	学校法人 玉田学園	24 神戸常盤大学
		25 神戸常盤大学短期大学部
22	学校法人 神戸薬科大学	26 神戸薬科大学
23	学校法人 頌栄保育学院	27 頌栄短期大学
24	学校法人 園田学園	28 園田学園女子大学
		29 園田学園女子大学短期大学部
25	学校法人 平成医療学園	30 宝塚医療大学
26	学校法人 弘徳学園	31 姫路大学
27	学校法人 獨協学園	32 姫路獨協大学
28	学校法人 睦学園	33 兵庫大学
		34 兵庫大学短期大学部
29	学校法人 兵庫医科大学	35 兵庫医科大学
30	国立大学法人 兵庫教育大学	36 兵庫教育大学
31	兵庫県公立大学法人	37 兵庫県立大学
		38 芸術文化観光専門職大学
32	学校法人 中内学園	39 流通科学大学

# 大学コンソーシアムひょうご神戸 役員

理事長	甲南大学	学長	中井 伊都子
副理事長	関西学院大学	学長	村田 治
	神戸大学	学長	藤澤 正人
理事	関西国際大学	学長	濱名 篤
	神戸学院大学	学長	中村 恵
	神戸市外国語大学	学長	田中 悟
	神戸市看護大学	学長	南 裕子
	神戸親和女子大学	学長	三井 知代
	神戸常盤大学	学長	濱田 道夫
	兵庫県立大学	学長	太田 勲
監事	大手前短期大学	学長	福井 洋子
	神戸女学院大学	学長	中野 敬一
参与	兵庫県知事		齋藤 元彦
	神戸市長		久元 喜造
	独立行政法人日本学生支援機構	理事長	吉岡 知哉

# 大学コンソーシアムひょうご神戸 賛助会員一覧 (34社)

企業名			
①	株式会社 あみだ池大黒	18	日本テクノロジーソリューション株式会社
2	株式会社ECC	19	株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター
3	株式会社池田泉州銀行	②0	株式会社ノーリツ
④	エム・シーシー食品株式会社	②1	白鶴酒造株式会社
5	株式会社学生情報センター	②2	株式会社パソナグループ
6	神戸商工会議所	23	バンドー化学株式会社
7	神戸トヨペット株式会社	24	兵庫県経営者協会
⑧	株式会社サンエース	25	富士通Japan株式会社
9	株式会社JTB 神戸支店	26	株式会社ブックス
⑩	株式会社シマブンコーポレーション	27	丸善雄松堂株式会社
⑪	医療法人社団星晶会	28	ミズノ株式会社
⑫	センコー株式会社	29	株式会社みなと銀行
13	株式会社TAT	③0	株式会社立成社
14	東洋証券株式会社	31	株式会社レック
⑮	ナガセケムテックス株式会社	32	株式会社ロジックアンドサプライズ
16	日本ジッパーチュービング株式会社	33	株式会社ロック・フィールド
17	株式会社日本ツアーサービス	34	和田興産株式会社

# 1) 国際交流委員会事業 28校

委員長校：兵庫県立大学

副委員長校：神戸市外国語大学

1. 「兵庫国際交流会館における  
国際交流拠点推進事業」
2. 学生派遣プログラム
3. 模擬国連演習【NMUN(National Model  
United Nations)】

課題⑤：外国人留学生と日本人学生等の交流促進

## 大学間連携による協業事業

甲南女子大学・兵庫県立大学と協業。留学生との交流を通し、国際理解、コミュニケーション能力向上を目的に実施



## 英語でのキャリアイベント

「英語による」キャリアイベントを開催、優秀なグローバル人材の日本での就職率の向上に貢献することを目的に実施



## 「防災セミナー」外国人のための避難所体験

神戸国際コミュニティセンター及び神戸大学グローバル教育センターと協業して実施



## 英語村

大学生が企画し、中高生等を対象に英語を通じたコミュニケーションの楽しさや学びを提供



## 学生海外派遣プログラム

- 1 医療・検査コース (アメリカ ポストン)
- 2 看護コース (ネパール カトマンズ)



新型コロナウイルス感染症の影響にて、中止これまでの参加生徒の満足度も高い為、時期を見て再開を検討する

## 模擬国連演習

### 【NMUN (National Model United Nations)】

世界各地で行われている模擬国連活動の中で、最も権威のある本大会を、神戸市外国語大学がホスト校となり実施した



## 今年度の新規性

- ・多文化共生の拠点として、外国人留学生と日本人学生が学生スタッフとして、企画・運営等を協働して行う組織を充実させた (在籍学生スタッフ・16か国42名)
- ・県内の国際交流機関との連携を強化し、より多くの地域の方や海外の方と加盟校学生と一緒に学び、交流する機会を提供した
- ・日本での就職を希望する留学生に対して、就職に係る正確な情報提供と日本企業との交流の機会を提供し、留学生の日本での就職の意識を高めた

## 自己評価

- ・自己評価 **4/4 当初計画を上回って達成**
- ・理由  
当初目標の各年参加者500名以上という目標を大きく上回る**約1,582名参加**という結果となった
- ・ファシリテーション **全2回 145名**
- ・Let's talk with us **全2回 72名**
- ・Get Ready for a Successful Job-Hunting in Japan **全2回270名**
- ・キャリアカフェ **全10回 910名**
- ・防災セミナー **25名**
- ・英語村 **全4回 160名**

## 活動の満足度

- ・英語でのキャリアイベント  
**「就職活動の理解がとても深まった」 「深まった」 94.8%**
- ・模擬国連演習  
**「国際理解が深まった」 100%**
- ・防災セミナー  
**「とても役に立った」 「役に立った」 100%**
- ・英語村  
**「とてもよかった・よかった」 100%**  
**「国際理解が深まった」 100%**

## 2) 学生交流委員会事業 25校

委員長校：神戸常盤大学

副委員長校：神戸親和女子大学

### 1. WILL BEプロジェクト（3プログラム）

「テーマ型の学生交流プロジェクト」

### 2. 学生発信ブランディング

「加盟校・学生の地域活性化に関する取組広報」

課題③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進

## みなとまつり

兵庫県、神戸市、神戸青年会議所ほかが実行委員会を形成し、主催される「みなとまつり」に楽天ヴィッセル神戸と協力しブース出展



## Autumn Festival in KOBE

地元企業であるマルヤナギ小倉屋と商品企画から販売促進・広報を協力し、加東市の特産品である「もち麦」を使用したドリンクのブース出展



## 地域子育て支援拠点 こどもの居場所でのボランティア等活動

加盟校が連携して、コンソ加盟校の学生がボランティア活動や地域貢献活動に参加しやすい場、そして学習成果を発表出来る場を提供



## ナガセテムテックスプレゼンツ ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト

地域の活性化に資する人材育成プログラムとして、地域スポーツ振興をテーマに、プロスポーツチーム・ヴィクトリーナ姫路が抱える事業課題の解決に向けたビジネスコンテストを実施



## 地域の活性化に関する加盟校学生の取組事例の紹介

大学コンソーシアムひょうご神戸HP「NOTE」に、「地域で輝く学生」と題して連載記事を掲載



## 多種多様な媒体での広報活動

学生自身がSNS、ラジオ出演にて広報活動。神戸新聞等の取材で学生の取組が紙面で紹介された



## 今年度の新規性

- 「WILL BE プロジェクト」は今年度の新たな取組であり、地元企業等との連携による実践活動は、学内だけでは味わえない経験と学びが、学生自身の成長に寄与したことがうかがえる
- 「加盟校・学生の地域活性化に関する取組広報」は「WILL BE プロジェクト」と連動したメディアを介した周知活動や、加盟校の特長ある地域貢献活動をホームページ上で継続的に発信

- 自己評価 **3/4 当初の計画を達成できた**
- 理由  
WILL BEプロジェクトは当初の目的は10校50名の参加目標が、**34校150名の参加**
  - みなとまつり **11校52名**
  - Autumn Festival in KOBE **8校22名**
  - 地域子育て拠点等でのボランティア活動 **3校 6名**
  - ヴィクトリーナ姫路 **10校70名**

## 活動の満足度

- 自分たちでブースを企画・運営することは初めてだったが、とてもやりがいを感じた。お客様に喜んでもらえるのが何より嬉しかった
- みんなでひとつの目標・ゴールに向かって成し遂げようとする力が身についた。意見を出し合い、精査した上で何が最善なのか見極める力も身についた
- 企画立案から実践までの間、失敗したことも多かったが、失敗から学んだことは多く、成功するための糧にすることができた

### 3) 教育連携委員会事業 24校

委員長校：神戸大学

副委員長校：大手前大学

1. 単位互換事業
2. 多様な学修機会の提供事業

課題⑦：大学間連携による多様な教育ニーズへの対応

## 参加委員会校 24校

委員長校：神戸大学

大手前短期大学  
関西国際大学  
関西福祉大学  
関西学院大学  
聖和短期大学  
甲南大学  
神戸医療未来大学  
神戸海星女子学院大学  
神戸学院大学  
神戸芸術工科大学  
神戸市看護大学

副委員長校：大手前大学  
神戸松蔭女子学院大学  
神戸親和女子大学  
神戸常盤大学  
神戸常盤大学短期大学部  
園田学園女子大学  
園田学園女子大学短期大学部  
姫路独協大学  
兵庫大学  
兵庫大学短期大学部  
神戸医科大学  
神戸県立大学

## 単位互換

加盟校学生に幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や各校の特徴を活かした授業及び集中講義を中心に単位互換を実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響下、授業形態の多様化により、履修者を増やす結果となった

- ・15校85科目開放
- ・履修者8校42名（対面31・オンデマンド10・オンデマンドとオンライン併用1）10/30時点

※2021年度 11校43科目開放、履修者8校29名

## 「単位互換包括協定書」締結大学の拡大

協定書締結大学：35校  
(29大学、6短期大学・部)

- ・2023年度科目開放に向けて、新たに1校が協定書締結

<2022年度>  
34校(29大学、5短期大学・部)

## 広報ツールの作成

学生への周知拡大を図るため、神戸芸術工科大学学生が企画・デザインしたポスターとチラシを制作

各校において学内に掲示・配布し、広く学生に周知を行った



## 公開講座

17の公開講座を公開。160名が参加



## ICTを活用したコンテンツの検討

- ・大学eラーニング協議会共通基盤教育システムの試行継続
- ・教育コンテンツ提案ワーキンググループ (WG)

コロナ禍の影響で殆どの大学がオンライン授業を実施した中で、各大学の実情と課題について意見交換。外部講師を招いてオンライン教材の作成に関する講習会を実施し、新たな授業方法の工夫に向けて活動した



## 今年度の新規性

- ・包括協定書の見直し（遠隔授業科目を単位互換科目として位置づけることの明確化）により、昨年度よりも履修者が増加  
→これまで距離的・時間的制約により履修者数が伸びなかったが、教育のICT化により単位互換事業も新たな段階に突入
- ・教育コンテンツ提案ワーキンググループを発足  
→従来の対面授業形式が戻りつつある中、オンライン授業等、コロナ禍での新たな「選択肢」の大学教育への導入を総括。教育コンテンツの可能性と課題を今後活かす議論を深めた

## 自己評価

- ・自己評価 **3/4 当初の計画を達成できた**
- ・理由
  - 単位互換  
履修者の送り出し校：目標5校 **実績8校**  
開放科目数：目標10科目 **実績85科目**
  - 公開講座  
参加者数：目標50名 **実績160名**  
講座数：目標5件以上 **実績17件**
  - 教育コンテンツ提案ワーキンググループ  
**2回実施：1回目7校 2回目8校14名**

## 活動の満足度

- (単位互換事業について)
- ・大学のガイダンス・単位互換事業のポスターをきっかけに参加した。所属大学にない内容の授業がよかった
  - ・学びたいことを学ぶことができ、とても貴重な経験になった。いつもの学生生活では出会えない人とも交流が持てた

## 4) キャリア委員会事業 24校

委員長校：関西学院大学

副委員長校：関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学

1. 「大学キャリアセンターと連携した  
県内大学生の地元就職促進プロジェクト」
2. 県内企業・団体等の魅力を情報発信
3. 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム  
(ひょうご留学生インターンシップ)
4. 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム  
(県内企業海外事業展開に係る留学生活用事業)

課題①：地域活性化のための県内企業就職率の向上

課題④：外国人留学生の受入体制の強化・定着促進

## 企業とキャリアセンターとの意見交換会

合同企業説明会、企業×キャリア情報交換会  
(計7回) を開催



## 若手社員による学生啓発プログラム

「ライフキャリアを考える」、「合同模擬グループディスカッション・面接大作戦」を実施



## 県内企業の情報発信の強化

「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」に随時  
情報公開中。今年度15社追加 **計152社掲載**



## 経営者による職業観形成プログラム

ZOOMオンラインにて「マイクロインターシップ」  
「グループディスカッションで学ぶ企業人事の採用  
視点」、対面にて「県内企業経営者・人事担当者との  
座談会」「社会人スタートダッシュ」を開催



## ひょうご留学生インターンシップ

今年度で14年継続のプログラム



## 外国人向け合同説明会や就職活動準備講座の実施



## 今年度の新規性

- ・昨年実施した「産官学連携によるリーダシップ育成講座」を発展させた「マイクロインターンシップ」を実施
- ・低学年留学生向けの就活準備講座の実施



## 自己評価

- ・自己評価 **3/4 当初の計画を達成できた**
- ・理由
  - ・今年度の目標参加者数500名を上回る**652名参加**
    - ・大学キャリアセンターとの意見交換会 **全5回 298名参加**
    - ・経営者/若手社員による学生啓発プログラム **全4回 277名参加**

## <留学生向け支援>

- ・目標参加者数 500名を上回る**1,734名の参加**
  - ・ひょうごインターンシップ
    - 修了生 **8大学43名 受入企業・団体22社**
  - ・外国人向け合同企業説明会 **848名参加**

## 活動の満足度

- ・「県内企業への理解や興味が深まった」と回答した参加者 **79%**
- ・グループディスカッションで学ぶ企業人事の採用視点 **とても良かった・良かった 100%**
- ・ひょうご留学生インターンシップ「日本企業・文化理解が深まった事を実感した」と回答した参加者 **100%**

## 5) 高大連携委員会事業 19校

委員長校：関西国際大学

副委員長校：甲南大学、神戸松蔭女子学院大学

1. 大学と高等学校の意見交換会の実施  
(ひょうご高校大学コンソーシアム)
2. 加盟校の魅力を情報発信

課題②：県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続

## 高大連携委員会数 19校

委員長校：関西国際大学

副委員長校：甲南大学、神戸神戸松蔭女子学院大学

関西学院大学

聖和短期大学

神戸大学

神戸海星女子学院大学

神戸学院大学

神戸親和女子大学

神戸常盤大学

神戸常盤大学短期大学部

頌栄短期大学

園田学園女子大学

園田学園女子大学短期大学部

姫路獨協大学

兵庫大学

兵庫大学短期大学部

兵庫医科大学

兵庫県立大学

## ひょうご高校コンソーシアム

兵庫県下の高等学校・教育委員会・加盟校との意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」を開催。本年度テーマは「『探究』を教育活動で展開するにはどうしたらいいのか」

参加者数 64名



## 合同進学説明会

大学への進路選択にむけて、高校生と保護者、高校教員等を対象とする共同の説明会（オンライン）を開催。奨学金に関する情報提供も実施

参加校21校



## 県内大学等の情報提供の実施

### ①まなびMap

加盟校の各大学の学部を一覧で掲載。

各大学にどのような学部があるかを情報提供



## 県内大学等の情報提供の実施

### ②オープンキャンパス情報掲載

HPにて加盟校のオープンキャンパスや学園祭情報を掲載



## アンケート等の実施

・「探究学習」の実施状況並びに「進学説明会」についてのアンケートを実施

・合同進学説明会のチラシ配布・案内：県立・私立・市立高校等200校以上

→高校並びに教職員・学生に対して、加盟校の魅力伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する活動の継続

## 今年度の新規性

今年度から高等学校学習指導要領において新しく導入される「探究学習」について、継続性のある意見交換会を試みた

→経年で同一テーマでの意見交換を継続することで、一過性の意見交換にとどまることのない、大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークの構築を期待できる

## 自己評価

・自己評価 **3/4 当初の計画を達成できた**

ひょうご高校大学コンソーシアム

参加者数：計64名（加盟校：20校42名、高校：14校17名、企業・団体：2社5名）

・理由

意見交換会を年1回以上開催 → **達成**  
目標参加校数20校以上を上回る**38校参加**

## 活動の満足度

・高大連携センターの役割や今後ますます発展しそうな連携の在り方が見えた。また、出張授業などがスキル別でリスト化されていることが素晴らしいと感じた

・本校も探究のデータベース等を作成したいと考えている。今後も積極的に作成に向けて取り組んでいきたい

・高校、大学双方の課題等を提示したうえで前向きに解決に向けた意見交換ができた

## 6) FDSD委員会事業 25校

委員長校：神戸学院大学

副委員長校：兵庫大学、神戸薬科大学

1. 加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開
2. FD・SD情報交換会、セミナー等の開催

課題⑥：大学教職員の研究機会の提供と交流の促進

## FD・SD委員会 委員校

委員長校：神戸学院大学  
副委員長校：神戸薬科大学、兵庫大学

芦屋大学 神戸親和女子大学  
関西国際大学 神戸常盤大学  
関西学院大学 神戸常盤大学短期大学部  
聖和短期大学 頌栄短期大学  
甲南大学 園田学園女子大学  
神戸大学 園田学園女子大学短期大学部  
神戸海星女子学院大学 姫路獨協大学  
神戸市看護大学 兵庫大学短期大学部  
神戸松蔭女子学院大学 兵庫医科大学  
神戸女子大学 兵庫教育大学  
神戸女子短期大学 兵庫県立大学

## トップセミナー

「GIGAスクール構想がもたらす大学教育への影響 - 次代の学生像を考える -」をテーマに開催

「これからの高等教育のあり方」「初等中等教育における情報教育・ICT活用教育の現状と未来」について講演・意見交換を行った

参加者 113名



## セミナーの公開

5大学合計 7 件の公開セミナー開催

合計 686名が受講

<開催校>

大手前大学 1件  
関西学院大学 1件  
神戸学院大学 3件  
神戸薬科大学 1件  
兵庫大学 1件

## 内部品質保証セミナー

「今こそ、基本的な考え方に立ち返り、実質化を考えたい!」と題して開催。「内部品質保証に関する基本的な考え方」「内部品質保証に関する要件と課題・GPについて」「認証評価基準や認証評価結果」に関する講演と意見交換会を開催

参加者 35名



## 「大学運営」に関する科目の受講支援

・関西学院大学経営戦略研究科ビジネススクールにて2016年から大学職員向けのSDとして開設科目「大学運営」に関する科目の受講支援を行った  
加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供できた

受講者 4校8名

## 内部品質保証セミナー ~教学データ活用実習~

「内部品質保証」や「IR」に関するセミナーを継続的に開催。「教学データの扱い方」をテーマに実務に役立つ「Excelだけでできるデータ活用実習」を開催

参加者17名



## 今年度の新規性

- ・加盟校からのセミナー情報の提供方法としてWebフォームを導入。登録手続きの利便性と簡便化を図ることで、セミナー公開の活性化を目指した
- ・トップセミナーはテーマを高等教育だけでなく、初等中等教育も含めた視点を加えることで、教育の中長期的な計画について議論を行った

→授業方法や学習形態等の教育変化に直面するなか、教育課題を明確化し、教育改革のための新しい視点を持つ機会が提供できた

## 自己評価

- ・自己評価 **4/4 当初の計画を上回って達成できた**

理由  
FDSDセミナー目標参加者数 100名を上回る **686名が参加**

FDSDセミナー件数 目標5件を上回る**7件**の開催

FDSD情報交換会の年3回開催 → **達成**

FDSD情報交換会目標参加者50名を上回る**165名**が参加

## 活動の満足度

・高等教育の課題を高等教育と初等中等教育の両面から俯瞰でき、わかりやすく、より理解が深まった研修会であった

・具体的な事例を伺い、本学でのデータ活用の糸口になった

・講師と参加者との情報交換が有益だった。今後も様々なテーマについて情報交換ができる場の設定をお願いしたい。とても勉強になった。また人脈づくりにもなり大変貴重な場となった

## 7) 企画運営委員会事業 11校

委員長校：神戸大学

副委員長校：甲南大学

1. リカレント教育の普及に向けた取組
2. 加盟校のリカレント教育に関する情報発信
3. 大学間・地方自治体・企業・地域団体との  
連携体制の構築
4. 緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築
5. 加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進

課題⑧：県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進

課題⑨：大学資源を活用する地域プラットフォームの形成

課題⑩：県内大学が活性化する事業運営体制の整備

## リカレント教育の普及促進

リカレントフォーラムの開催やHP上で各校のリカレント講座情報を掲載



## 大学・地方自治体・企業・地域団体との連携体制構築①

ひょうご産官学連携協議会にて定期的に意見交換  
また、地域住民の方の参加を対象に報告会も開催

【体制】 プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



加盟校数、賛助会員数は、2022年12月現在

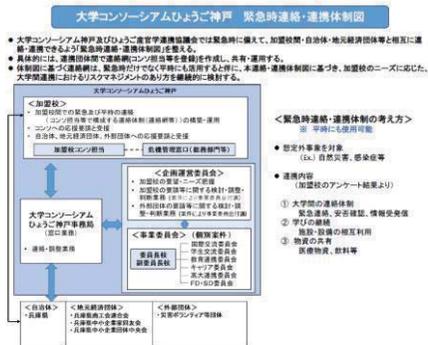
## 大学・地方自治体・企業・地域団体との連携体制構築②

・賛助会員と加盟校の懇親会を、神戸ポートピアホテルにて開催。あたりに賛助会員に入会くださった  
**11社**を含む、**97名**の方々にご参加頂きました



## 緊急時の加盟校間の協力・情報共有体制の構築①

緊急時連絡・連携体制図の作成



## 緊急時の加盟校間の協力・情報共有体制の構築②

「リスクに関する情報交換会」にて、具体的な運用について議論

加盟校が蓄積する経験  
や知見の共有を行う



## 加盟校が活性化する事業運営体制の整備・推進

企画運営委員会にてコンソの運営体制について  
およそ月1回開催し議論を実施

<議題 例>

- ・中長期計画Ⅱ期について
- ・事業委員会体制について
- ・事業委員会 予算・決算について
- ・リスクマネジメント体制について
- ・リカレント教育について
- ・私立大学等改革総合支援事業 申請について など

## 加盟校専用ページの開設

学長就任情報の入力、各委員会の会議資料・議事録、HPの掲載依頼、メルマガ等掲載



※各事業委員会のパスワードは「Consome」です

## メルマガの配信

月1回のペースで「コンソニュース」と題して、  
コンソの活動内容を配信

【コンソからのご案内】コンソニュース vol.7

大学コンソーシアムひょうご神戸 <info@consortium-hyogo.jp>  
宛先: info@consortium-hyogo.jp

① 画像をダウンロードするには、ここをクリックします。プライバシー保護を促進するため、メンバー内画像は自動的に行方不明になります。

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸  
加盟校各位

大学コンソーシアムひょうご神戸事務局です。  
メルマガでは、加盟校の皆さまへコンソの活動内容を毎月発信させていただきます。

コンソニュース vol.7 (2023.1.11日配信)

- ★ [TOPICS]
- ◆ イベント実施報告
- ◆ 今後のイベント情報
- ◆ 学生数の調査について
- ◆ 第3回ひょうご産官学連携協議会総会の開催予告

## NOTEへの活動報告の掲載

NOTEにて加盟校学生の活動やコンソイベントの  
報告などを掲載



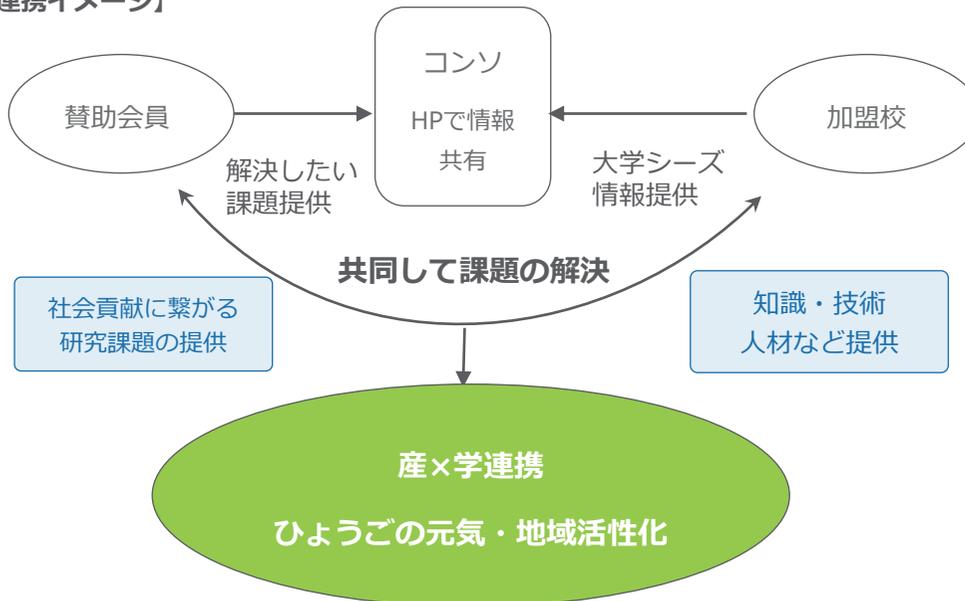
# 課題解決プログラムのご案内

企業・団体の課題解決を通じて、研究・教育への取組を検討されている大学教職員と企業を繋ぐ。  
兵庫の元気・地域活性化に向けて、双方の「学び」を繋ぐ。

## 【背景】



## 【連携イメージ】



## 【賛助会員側のメリット】

- ・ 自社の課題解決
- ・ 幅広い専門分野の知識や経験を備えた人材（研究者等）との交流
- ・ 学術的な視点を取り入れた事業展開を可能に
- ・ 連携後も大学側とのネットワークが広がる

## 【加盟校側のメリット】

- ・ 自学の研究シーズを活用して頂くことで地域社会に貢献
- ・ 市場につながる企業とのネットワークの構築
- ・ 兵庫県下の多くの魅力的な企業と学生との交流
- ・ 企業から出された「具体的な課題」に対して、大学生がゼミの専門性（研究テーマ）を生かして実践的な研究活動を実施

## 【連携想定例】

- ① 自社ブランドの知名度向上を目指して、大学のマーケティング専攻の教授、及びゼミ生と共同して取組む。
- ② 観光会社が新たなツアー先の追加について、現代社会のメカニズムを研究している教授、及びゼミ生と共同して取組む。



## 7-5. 加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築

\* 事業委員会の運営に関する申し合わせから抜粋

### 3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

(1) 任期は2年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないように配慮する。

(2) **国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選択制とし、キャリア委員会及びFD・SD委員会の委員長校の選考は輪番制とする。**

(3) 6事業委員会の副委員長校の選考は、選択制とする。

(4) 任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

#### **【選択制】**

①選択制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選択することとする。

②事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

#### **【輪番制】**

・輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

## 2. 各事業委員会の委員長校・副委員長校の決定方法（選択的輪番制）

		<b>選択制</b> 企画運営委員会・理事会にて調整	<b>輪番制</b> 理事校内で交代制
1	事業の質	○ ・担当校の継続により、 <b>事業運営の安定性・継続性の担保。</b>	○ ・大学が力を入れている事業（ <b>キャリア・FDSD</b> ）に関しては <b>質保証が可。</b>
2	固定化・負担論	○ ・ <b>自学にとって優位性のある委員会を担当し、個性を発揮。</b> ・学内で同一部署が担当することで負担論が生まれる可能性がある。	△ ・様々な大学、部署が担うため <b>公平化、平準化</b> が可能に。また2年後に向けての準備も可能となる。
3	コミットメント	△ ・学内での理解者は増加しにくい ・特定部署のコミットメントは期待できる。	○ ・ <b>様々な大学、部署にコンソ活動を広く理解頂く機会に繋がる。</b> ・ <b>学内でコンソの全容把握が進む。</b>

事業委員会毎に、事業数や事業規模が異なるため、一律に選択制・輪番制を決定せず、**委員会の状況に応じて検討する。**

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸  
トルコ・シリア地震被害に対する義援金の受付について

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸  
理事長 中井 伊都子

トルコ南部からシリア北部で発生した大地震により甚大な被害が発生していることに際し、兵庫県下の大学間連携組織である大学コンソーシアムひょうご神戸では、トルコの被災者の方々を支援するための義援金の募集に取り組むことと致しました。

阪神・淡路大震災では、国内外より多くのご支援をいただき、互いに助け合い、繋がることの大切さを学びました。また、当コンソーシアムでは発足当時より、その経験と学びを「つたえる・つながる・つづける」べく活動を進めております。2011年の東日本大震災発災時には、学生交流委員会にて、11年間継続して、学生災害ボランティア・ネットワーク事業を実施して参りました。また、国際交流委員会では、外国人留学生や在留外国人、地域社会も含め、防災教育を多文化共生の観点から取り組んでおります。阪神・淡路大震災の経験を持つ“ひょうご神戸”に拠点を置く、大学コンソーシアムひょうご神戸ができることの一つとして、トルコの被災者の方々の支援・復興に尽力することの重要性があると考えます。

つきましては、長期的な観点での支援が必要とされるこのたびの災害に対して、義援金の趣旨にご賛同いただき、多数の教職員・学生等からの募金へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「令和5年トルコ地震義援金」の募集について

1. 対象：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の教職員、学生、保護者、一般の皆さま
2. 募集期間：2023年3月13日（月）～5月29日（月）
3. 義援金をお願いしたい金額：任意 ※1円から任意の金額で、設定が可能です。
4. 義援金の寄贈先・用途：

「令和5年トルコ地震兵庫県義援金募集委員会」の協賛団体として、皆様からの義援金は、全額「令和5年トルコ地震兵庫県義援金募集委員会」に寄贈し、トルコの救援・復興支援等に役立てて頂きます。

5. 義援金の応募方法：

『ひょうご神戸から繋ごう！「令和5年トルコ地震義援金」ポスター』の学内掲示、教職員、学生等への配布にご協力くださいますようお願い致します。銀行振込、募金箱にて受付致します。

(1) 銀行振込

口座：みなと銀行（0562）本店営業部（011）普通預金 1929265

名義：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸（イッパソジャダソホジソダイガクソソシアムヒョウゴコウベ）

(2) 募金箱

実施可能な大学におかれましては、募金箱をご準備頂き、『ひょうご神戸から繋ごう！「令和5年トルコ地震義援金」ポスター』を活用頂き、募集ください。各校にて募集頂きました義援金は、コンソに5月29日（月）までに銀行振込にて応募ください。（振込手数料は各大学にてご負担くださいますようお願い致します。）

※本義援金については税制上の優遇措置の対象とならず領収書は発行されません。あらかじめご了承ください。

<添付資料> ひょうご神戸から繋ごう！「令和5年トルコ地震義援金」ポスター

【お問い合わせ先】※法人様・団体様で募金をお考えくださっている方は、下記にご連絡ください。

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 事務局  
メール：info@consortium-hyogo.jp TEL：078-271-0233

土耳其加油！別放棄！  
(台灣・流通科学大学)

頑張れ！トルコ！！  
(日本・神戸学院大学)

Пусть к вам поскорее вернется мир.  
(ロシア・神戸大学)

Do hope even little help  
to support you all  
(日本・兵庫県立大学)

遠くからではありますが、皆さんの心に一日も早く平安が訪れることを願ってやみません  
(日本・神戸女学院大学)

# ひょうご神戸から繋ごう！ 「令和5年 トルコ地震義援金」 Donation for Turkey-Syria Earthquake in 2023



Pakikiramay at pagmamahal sa lahat.  
Ipinapanalangin ko ang mablis na  
panunumbalik ng kaayusan at kagalilingan ng  
inyong sambugayan ♡ (フィリピン・神戸大学)

募集期間：2023年5月 日（ ）まで

阪神・淡路大震災を経験した“ひょうご神戸”に  
拠点を置く大学コンソーシアムひょうご神戸  
(兵庫県下加盟校・39校) だからこそできること。

皆さまからの義援金は  
「令和5年トルコ地震兵庫県義援金募集委員会」  
に寄贈し、トルコでの救援・復興支援等  
に役立てて頂きます。

↓ 思いよ、届け！ 加盟校学生たちからのコメント (国籍・大学名) です。

## 大学コンソーシアムひょうご神戸

The Consortium Universities in Hyogo

TEL : 078-271-0233

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸は、  
「令和5年トルコ地震兵庫県義援金募集委員会」の協賛団体です

【銀行振込】

口座：みなと銀行 (0562) 本店営業部 (011) 普通預金 1929265  
名義：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸



quá khư-ñhện tại-tương lại-không gian, khoảnh  
khắc hiện tại là quan trọng nhất, cố gắng và  
làm những việc cần phải làm, tôi yêu các bạn.  
(ベトナム・兵庫大学)

日本から、少しでも早い復興をお祈り  
申し上げます。応援しています！  
(日本・神戸市外国語大学・甲南女子大学)

Get over this hard time!  
(日本・甲南大学)

为土耳其大地震的牺牲者祈祷。  
(中国・関西学院大学)

قلوبنا معكم  
(パレスチナ・甲南大学)

为土耳其和叙利亚受灾民众祈福！  
愿你们平安健康！  
(中国・神戸市外国語大学)

## 阪神・淡路大震災を経験した“ひょうご神戸”に拠点を置く 大学コンソーシアムひょうご神戸だからこそできること

阪神・淡路大震災では、国内外より多くのご支援を頂き、互いに助け合い、繋がることの大切さを学びました。当コンソーシアムでは、その経験と学びを「つたえる・つながる・つづける」べく活動を行っています。

### ● 学生交流活動

2011年の東日本大震災発災時から、11年間継続して学生災害ボランティア・ネットワーク事業を実施。“今だから、学生だから”できることを、神戸市社会福祉協議会、日本財団学生ボランティアセンターと共催し、主体的に考え活動。2023年度は、兵庫県の防災施策PR動画を、学生が学生のために作成予定。



### ● 国際交流活動

外国人留学生や在留外国人、地域社会も含め、多文化共生の観点から防災教育等のセミナーを実施。JICA関西や兵庫県国際交流協会、兵庫県ユニセフ協会、神戸国際コミュニティセンター等とネットワークを構築。



# 大学コンソーシアムひょうご神戸

The Consortium Universities in Hyogo

31大学・7短期大学(部)・1高等専門学校

明石工業高等専門学校  
芦屋大学  
大手前大学・大手前短期大学  
関西国際大学  
関西福祉大学  
関西学院大学・聖和短期大学  
芸術文化観光専門職大学  
甲南大学  
甲南女子大学  
神戸大学  
神戸医療未来大学  
神戸海星女子学院大学  
神戸学院大学

神戸芸術工科大学  
神戸国際大学  
神戸市外国語大学  
神戸市看護大学  
神戸松蔭女子学院大学  
神戸学院大学  
神戸女子大学・  
神戸女子短期大学  
神戸親和女子大学  
神戸常盤大学・  
神戸常盤大学短期大学部  
神戸薬科大学  
須栄短期大学

園田学園女子大学・  
園田学園女子大学短期大学部  
宝塚医療大学  
姫路大学  
姫路獨協大学  
兵庫大学・  
兵庫大学短期大学部  
兵庫医科大学  
兵庫教育大学  
兵庫県立大学  
流通科学大学

Access



一般社団法人 大学コンソーシアム ひょうご 神戸

〒651-0072 兵庫県神戸市中央区船場町1丁目2-6 兵庫国際交流会館1F  
TEL: 078-271-0233 FAX: 078-271-0244 HP: <http://www.consortium-hyogo.jp/>

■2022年度 各事業委員会活動の自己評価に対する改善提案

<自己評価基準>

対到達目標 4：当初計画を上回って達成できた 3：当初計画を達成できた 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った -：判定不能

対継続性 4：本プログラムは継続すべきである 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要だ 1：本プログラムは中止すべきだ

委員会	中長期計画Ⅱ期		プログラム名称	活動概要	自己評価到達/継続	改善提案	活動指標と進捗状況(2022年11月末現在)		(参考)中長期計画		
	柱	課題					2022年度活動指標	2022年度活動見込み	達成目標	2022年度時点見込み	
国際交流委員会	柱2	"ひょうご神戸"の国際性を活かしたグローバル教育支援	⑥外国人留学生と日本人学生等の交流促進	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施	JASSO委託事業 2019年から今回5年間で受託大学連携での国際交流拠点活動を実施	4/4	・コロナ禍の状況を注視しながら、イベント毎にオンラインの特性と対面の特性を見極め、効果的に多くの参加者に刺激のある学びを提供するプログラムを運行している。さらに、外国人留学生と日本人学生が学生スタッフとして、企画・運営・ファンレション等を協働して行う組織を充実させることで、地域の方々、留学生、加盟校内外の学生が交流する機会を創出している。以上のことから今後の更なる活動に期待する。	各年参加者数500名以上	1,174名(11月末時点)	94%以上の国際理解	
				学生海外派遣プログラム	学生の海外派遣による医療・衛生面理解 医療検査コース(米国・ネパール) 看護コース(米国・ネパール)	-/4	昨年に続き、新型コロナウイルスの影響で中止となったが、これまで参加学生の満足度は高く、来年度以降も継続して開催することを期待する。	プログラム数10件以上	新型コロナウイルスによる渡航制限の為プログラムの中止	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合： 参加学生の80%以上(期間中2回測定)	-
				模擬国連演習「NMUN(National Model United Nations)」	「模擬国連世界大会(NMUN)」	3/4	「模擬国連世界大会(NMUN)」は、海外から集まった学生らと交流を回る貴重な機会であるので、今後も更なる活動に期待する。	17名(神戸外国語大学) 2名(神戸学院大学) 1名(兵庫県立大学)	100%の国際理解		
学生交流委員会	柱1	地域の活性化に資する人材育成のための連携	③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進	WILL BEプロジェクト「テーマ型の学生交流プロジェクト」	・地元企業と連携した地域活動 ・地域子育て支援拠点等でのボランティア活動 ・アウトリーチ活動 スポーツ ・ビジネスコンテスト	3/4	地元企業との連携による本プロジェクトは、学生への刺激となり、所属大学の学内活動だけでは味わえない経験が、学生自身の成長に寄与していることが分かるので、今後も更なる活動に期待する。また、「地域子育て支援拠点」や「子どもの居場所」でのボランティア活動については、加盟校が運営する施設・人材を活用して、大学間で連携・協力できている。個人の学生ボランティアや地域活動へのニーズにも応える仕組みとして機能しており、加盟校全体で学生を育てていくことができることから、今後も更なる活動に期待する。	参加加盟校数10校以上/年	34校(11月末時点)	各年参加者数50名以上	151名(11月末時点)
				学生発信ブランディング「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」	HP、SNS、メディア等に加盟校の学生の地域活動を公開	3/3	コン/HP上にて「地域で輝く学生」と題して活動の様子を掲載し、WILL BEプロジェクトの活動PRや広報をメディアやSNSを通じて発信しており、イベントと連携した活動周知が行われている事から、次年度も引き続き、本プログラムに取り組んでいきたい。	各加盟校からの情報提供/年1回以上 情報公開数40取組以上/年	40取組/年(予定)	情報公開数200取組以上	200取組以上/5年間(予定)
教育連携委員会	柱3	県内大学の教育・研究の質を高める多面的学びの提供	⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応	単位互換事業	単位互換事業の実施	4/4	・授業形態の多様化により、昨年度履修者29名から本年度42名(対面31、非対面11【オンデマンド10、オンデマンドオンライン併用1】)となり、大幅に履修者を増やす結果となった。 ・教育のICT化により単位互換事業も新たな段階に突入し、今後の学生へ多様な学びの機会の提供に繋げていくことを期待する。	送り出し校数・5校/年	・履修者：8大学42名(対面31名、非対面11名)	各年開放科目数：10科目以上	単位互換開放科目数：85科目
				多様な学修機会の提供事業	「大学e-learning協議会共通基礎教育システム」の提供、公開講座の開放	3/3	加盟校の教育資源の共有と相互連携の取組として、加盟校の公開講座を広く開放し、多様な学生の交流を促進し、学修経験の強化を引き続き図って頂きたい。 また、Eラーニングシステムについても、加盟校全体に周知を行い、加盟校全体のICTを活用した教育資源の向上の相乗効果を行って頂きたい。	参加者数50名以上/年	実施プログラム数17件 参加者数160名(11月末時点)	各年プログラム数5件以上	実施プログラム数17件 参加者数160名(11月末時点)
キャリア委員会	柱1	地域の活性化に資する人材育成のための連携	①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上(加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携)	大学キャリアセンターと連携した県内企業合同説明会 県内企業紹介動画 合同模擬グループディスカッション等	兵庫県総務部教育課受託事業 県内企業合同説明会 県内企業紹介動画 合同模擬グループディスカッション等	3/4	・意見交換会では大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供することで、現在の地域ニーズを共有し、現状を踏まえた就職活動支援を学生に行うことで、学生の県内企業理解向上に繋げている。 ・県内企業の経営者、若手社員との交流会により、学生が直接的に企業理解を深める場を提供している。対象者(教職員・学生)のニーズ等を検証のうえ、来年度の事業の受託に向けて準備を進めていきたい。	各年参加者数500名以上(学生：450名以上 教職員：50名以上)	参加学生：60名、教職員：53名(11月末時点) 今後開催イベントでの参加見込み学生：約400名、教職員：50名	本プログラムへの参加を通じて兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合： 参加学生の70%以上	事後アンケート結果「県内企業への理解や興味は深まった」79%
				県内企業・団体等の魅力を情報発信	兵庫県内企業情報をコン/HPにて掲載「地元で働く！」兵庫県事業情報サイト」	3/4	掲載企業数が、毎年活動指標を上回っている。また、今年度は追加情報として、留学生の採用有無、求められる日本語能力なども掲載し、更なる情報の充実を予定している。引き続き加盟校、県内企業と連携して、協力企業の開拓及び学生に有益な情報の効果的な発信の仕組みの構築について、引き続き取り組んでいきたい。	情報公開企業および留学生採用情報の追加：15社	現在委員キャリアセンターからの推薦企業15社	情報公開企業・団体数120社以上	2022年3月時点で、兵庫県内協力企業138社掲載中 本年度中に15社追加予定
	柱2	"ひょうご神戸"の国際性を活かしたグローバル教育支援	④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム(ひょうご留学生インターンシップ)	留学生に特化したインターンシップの機会提供	4/4	当該事業は兵庫県からの受託事業の一環として実施してきたが今年度で終了となる。「ひょうご留学生インターンシップ」は日本での就職を希望する留学生にとって、また留学生を採用したい地元企業にとっても過去14年間にわたり、成果を上げてきたプログラムであるため、外部資金獲得に向けて尽力していただきたい。来期は、HP等での情報発信・共有等を中心に実施するなど、当該プログラムを持続可能な形態を検討し、推進していただきたい。	各年参加者数500名以上	実習生：8大学43名 受入企業・団体数：22企業・団体	本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合： 参加学生の100%	
留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム(県内企業海外事業展開に係る留学生生活用事業)				兵庫県産業労働部国際局国際課受託事業 留学生向け合同企業説明会 日本企業理解促進プログラムの実施、留学生受入企業と大学との情報交換会の実施	4/3	当該事業は兵庫県からの受託事業の一環として実施してきたが今年度で終了となるため、外部資金獲得に向けて尽力していただきたい。来期は、「外国人留学生のための合同企業説明会」など、実施事業を絞って取り組んでいきたい。	2022年度実績としては、参加留学生数：1,315名(11月末時点)	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の91%			

■2022年度 各事業委員会活動の自己評価に対する改善提案

<自己評価基準>

対到達目標 4：当初計画を上回って達成できた 3：当初計画を達成できた 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った -：判定不能

対継続性 4：本プログラムは継続するべきである 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要だ 1：本プログラムは中止するべきだ

委員会	中長期計画Ⅱ期			プログラム名称	活動概要	自己評価到達/継続	改善提案	活動指標と進捗状況(2022年11月末現在)		(参考)中長期計画	
	柱	課題						2022年度活動指標	2022年度活動見込み	達成目標	2022年度時点見込み
高大連携委員会	柱1	地域の活性化に資する人材育成のための連携	②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続	大学と高等学校の意見交換会の実施 【ひょうご高校大学コンソーシアム】	ひょうご高校大学コンソーシアムの開催	4/4	県下大学と高校の高大連携に関する課題を共有し、具体的な課題について意見交換を行うことで、高大一貫した教育の提供、人材育成の取り組みを推進してほしい。	意見交換会等の実施/年1回以上	実施予定: 2022年12月12日(月) 13:30~16:30	各年参加校数20校以上	加盟校19校、高校19校、計38校50名の参加申込
				加盟校の魅力情報を発信	県内大学の情報提供 合同進学説明会の開催	3/3	高校と大学の意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」等での教職員間の議論や意見をひまえて、コンソーシアムホームページ上で加盟校の情報発信等に取り組みることについて、次年度以降も継続していただきたい。合同進学説明会は、加盟校のニーズ把握のうえ、継続の有無も含めて内容を検討していただきたい。高校と大学の学びの接続、教育の連携の観点から、高校・高校生等に加盟校の特徴を広く情報提供することは、重要な課題であるため、推進していただきたい。				
FDSO委員会	柱3	県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供	⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	加盟校での公開可能なFD・SDセミナー開放	4/4	約半年間で活動指標である公開セミナー開催数5件以上は達成されている。しかしながら、活動目標「大学間で研修プログラムを共有することで、多様な教職員の学び交流の場を提供すること」の成果として、当初期待されていた参加加盟校の増加や幅の解消は進捗は遅いため、今後も継続的に参加校への呼びかけを行い、広く本プラットフォームを活用していただきたい。	参加者数100名以上/年	大手前大学158名 関西学院大学166名 神戸学院大学124名 神戸薬科大学87名 兵庫大学151名 (計) 686名	各年セミナー5件以上	大手前大学1件 関西学院大学1件 神戸学院大学3件 神戸薬科大学1件 兵庫大学1件 (計) 5大学7件
				FD・SD情報交換会 セミナー等の開催	加盟校教職員を対象とした大学教育等に関する講演会等の開催 (FD・SDトップセミナー) 【内部質保証システム】構築に向けた取り組みの推進	4/4	①FD・SDトップセミナーについては、今後の教育課題を明確化し、教育改革のための新しい視点を持つことができると共に、加盟校の教職員の資質向上を図るとともに、教職員間のさらなる交流を促進できたことから、来年度も引き続き取り組んでいただきたい。 ②「内部質保証システム」構築に向けた取り組みの推進については、事務局から事前に加盟校へ参加可否を確認したところ、7校20名の方が参加可能とのことであり、引き続き一定の需要が見込まれることから、次年度以降も継続して実施していただきたい。				
企画運営委員会	柱3	県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供	⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進	リカレント教育の普及促進に向けた取組	リカレント教育先進大学による講演 県内大学・企業との情報交換	4/4	各加盟校において取組の促進が期待される「リカレント教育」について、文部科学省、地元企業、賛助会員等と連携を回り、産官学連携で議論できる場を設けることは、時代の趨勢にも合致する取組ともいえる。加盟校間でリカレント教育に関する課題の共有と連携を回り、大学におけるリカレント教育の促進、機運の醸成に向けた取り組みを、次年度以降も継続していただきたい。	大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)	2022年11月31日開催	各年参加者50名以上	78名
				加盟校のリカレント教育に関する情報発信	県内大学のリカレント講座PR	4/4	加盟校による多様な学修機会の提供、社会人の学びなおしの推進にかかる取り組みの一つとして、次年度以降も加盟校や産業界のニーズをもとに、その発展に寄与すべく、引き続き情報収集ならびに周知することを継続していただきたい。				
	柱4	県内大学が活性化化する大学連携組織としての運営体制の構築	⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成	・大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 ・緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	兵庫県内の産官学間の連携の促進と緊急時のリスクマネジメント体制の構築	兵庫県内の産官学間の連携の促進と緊急時のリスクマネジメント体制の構築	3/4	企画運営委員会での懇談については、定期的に実施し、産官学連携を拡充し、運営体制について意見交換を行っていただきたい。 本年度構築した、緊急時連絡・連携体制については、より実効性を高めるための検討を引き続き行っていただきたい。	大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)	・企画運営委員会 9回実施済 年度内計12回実施予定 ・産官学連携協議会・報告会 各1回実施 ・産業界との意見交換会 計2回実施予定	大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充と、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築
⑩県内大学が活性化する事業運営体制の整備					加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	事業委員会体制の整備	3/4	事業委員会の体制に関しては、選択制、輪番制での運用により、各校の状況を鑑みながら整備と推進を引き続き行っていただきたい。			
								企画運営委員会等における懇談の実施(年10回以上)	・企画運営委員会 9回実施済 年度内計12回実施予定	加盟校の共通課題に協働して取組む事業運営体制の構築	事業委員会制の継続の決定 選任方法として選択制と輪番制を設定